

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	①男女共同参画の意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
1	1	男女共同参画社会づくりのための情報紙の発行	市民と協働により情報紙を発行し、市民の手に届くよう配布します。	【管理指標項目】 情報紙の発行回数 【目標値】 年3回 【4年度実績】 年3回	情報紙「きらきら」を市民公募の編集委員5名と編集・発行し、学校や関係機関等に配布した。第53号「世代を超えて楽しむスポーツで育む思いやり」(14,000部)第54号「事業支援×ブックカフェ～本業を生かしていきたいと働く～」(16,000部)第55号「なにができる？身を守るために/誰かが傷ついてしまったら」(14,000部)	感染拡大防止のため、オンラインを併用した編集会議を開催し、市民編集委員の参加しやすい環境を整えた。会議の活性化を図るため、編集委員の募集を積極的に行い、読み手の意識啓発につながる記事づくりに配慮する必要がある。	読み手の意識啓発につながる男女共同参画の特集記事を検討し作成する。配布先の見直しを図り、より多くの市民の手に入るよう工夫する。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	オンラインを併用した編集会議を開催し、市民編集委員と協働で編集・発行をした。各号とも身近にある男女共同参画をテーマに取り上げ、学校や関係機関を通じて配布し、読み手の意識啓発につなげた。	男女共同参画センター
2	2	男女共同参画週間における講演会などの実施	毎年行われる国の男女共同参画週間に併せ、講演会などを実施します。	【管理指標項目】 男女共同参画週間に併せた講演会などの実施回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年1回	男女共同参画週間にあわせた講演会を実施した。 テーマ:無意識の思い込みを知る・気づく・変えていこう! 参加者:会場20人/オンライン27人	会場参加のほかにオンラインによる視聴を取り入れながら、グループワークを実施し、好評だった。引き続き参加しやすい方法の検討を行う必要がある。	令和5年6月の男女共同参画週間に向けて、運営委員会を立ち上げ、幅広い世代の人々が意識改革を図るきっかけとなる講演会の実施に向け準備を進めている。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	毎年、講演会にてアンケートを実施し、7割以上の人が「参考になった」と回答し、男女共同参画に関して考える機会となっている。また、令和3年度以降は、中央図書館と連携し、関連書籍の展示を行うなど、男女共同参画について広く周知を行うことができた。	男女共同参画センター
3	3	広報紙、ホームページ等メディアの活用による啓発	男女共同参画センターで行っている事業や、男女共同参画に関する情報を、広報紙、ホームページ、ツイッター等を通じて発信します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する情報の広報紙、ホームページ、ツイッター等による啓発回数 【目標値】 年10回 【4年度実績】 年11回	・広報習志野、ツイッター、テレビモニター及びホームページ「男女共同参画週間事業」 ・広報習志野、ツイッター、テレビモニター及びホームページ「LGBT講座」 ・広報習志野、テレビモニター及びホームページ「パラレルキャリア講座」 ・広報習志野、ツイッター及びホームページ「再チャレンジ支援講座」 ・広報習志野及びツイッター「きらきら編集委員募集・情報紙きらきら発行」 ・広報習志野、テレビモニター及びホームページ「習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」 ・なるほど習志野「男女共同参画センター」 ・広報習志野、ツイッター及びホームページ「男女共同参画啓発講座」 ・広報習志野、ツイッター、テレビ及びホームページ「女性に対する暴力をなくす運動」 ・広報習志野「ワーク・ライフ・バランス」 ・テレビモニター「若年層の性暴力被害予防月間」	各種講座の周知及び男女共同参画に関する情報の広報活動を実施した。男女共同参画に関して、継続的に広報を行い、広く意識の醸成に努める必要がある。	広報紙及びホームページに男女共同参画の情報掲載を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	各種講座等の周知及び男女共同参画に関する情報発信を行った。講座の参加者アンケートでは、参考になったとの回答が多く得られ、男女共同参画の意識醸成につながった。	男女共同参画センター

4	4	市職員に対する男女共同参画に関する研修の実施	新規採用職員を対象として、男女共同参画の理解を深める研修を実施し、男女共同参画の意識向上を目指します。	【管理指標項目】市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施回数 【目標値】年1回以上 【4年度実績】年1回	新規採用職員研修(後期)において、男女共同参画についての研修を実施。 (令和4年11月,受講者数:39名)	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修(後期)の中で、男女共同参画に関する研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した多くの職員からは、無意識の偏見や固定概念といったことに目を向ける必要性を感じたとの意見がでており、男女共同参画の意識向上に繋がったと考える。	人事課
5	5	民生委員・児童委員に対する男女共同参画に関する啓発の推進	市民生活に直結している民生委員・児童委員を対象とする男女共同参画に関する啓発を推進し、研修の参加を促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	習志野市民生委員児童委員協議会の全体研修会で「多様な性(LGBT)について」をテーマに、研修を行った。	多様な性(LGBT)への周知啓発を行っている「レインボー千葉の会」から、講師を招き、自身の経験から、悩みや苦労などを伺った。また、民生委員・児童委員の方からは、実際に、多様な性についての相談を受けたことがないとの意見もあった。	今後も、民生委員・児童委員として、必要な知識を身につけられるような研修テーマを探していく中で、男女共同参画に関する啓発を促進していく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	市民の身近な相談役である民生委員児童委員が多様な性(LGBT)の理解を深めることで、相談活動に資することができた。	社会福祉課
6	6	男女共同参画についての庁内啓発	市職員へ庁内啓発紙を発行し、啓発を行います。	【管理指標項目】市職員への男女共同参画に関する庁内啓発紙の発行回数 【目標値】年2回 【4年度実績】年1回	・職員啓発紙「ビーナ通信」を令和4年8月に発行した。 ・令和4年6月1日に施行した習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の概要及び育児・介護休業法～令和3年改正のポイント～について記事を作成した。	職員啓発紙「ビーナ通信」にて、職員への意識啓発を実施した。 引き続き、タイムリーなテーマも取り上げ、男女共同参画に関する理解促進のための啓発を行う必要がある。	職員啓発紙「ビーナ通信」は次年度2回発行予定。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度、LGBT、男性の育児参加など男女共同参画に関連するテーマをタイムリーに発信し、市職員への啓発につなげた。	男女共同参画センター
7	7	男女共同参画に関する講座などの開催	男女共同参画に関する講座などを開催します。	【管理指標項目】男女共同参画に関する講座などの開催回数 【目標値】年3回以上 【4年度実績】年3回	令和4年5、7月LGBT講座 令和4年10月再チャレンジ支援講座(全3回) 令和5年2月男女共同参画啓発講座(全2回)	講師都合により9月のパラレルキャリア講座は中止となったが、前年度よりも講座の全体の回数を増やし新型コロナウイルス感染拡大以前と同様に実施することができた。今後も感染状況に留意しつつ、開催方法について検討を行う必要がある。 (参考) 令和3年度:講座数4回 開催延べ数7回 令和4年度:講座数3回 開催延べ数7回	感染防止対策を図りながら、引き続き事業を行う。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各講座にて、実施したアンケートでは、参考になったと回答した参加者が多く、男女共同参画に関する啓発となった。またホームページで講座の報告をし、参加者以外への情報提供を図った。	男女共同参画センター
8	8-1	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	本業を生かしながら副業を行うことでいきいきと働く(パラレルキャリア)事業者について、情報紙「きらきら」第54号に掲載し、商工会議所を経由して、会議所会員に配布した(2,000部)。また、同号にはパラレルキャリアに関する用語説明を掲載し、事業所への啓発を図った。	商工会議所を経由して、会議所会員に配布した。会議所会員以外の事業所への啓発について引き続き検討する必要がある。	年2回発行の情報紙「きらきら」にて、事業所における男女共同参画に関する情報を掲載し、商工会議所会員への啓発に取り組む。 会議所会員以外の事業所への啓発方法について引き続き検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各事業所への男女共同参画社会づくり啓発紙「きらきら」の配布により、男女共同参画の取り組みについて考えるきっかけをつくることができた。	男女共同参画センター
8	8-2	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	職場環境等、整備等の措置の一つとして、育児・介護休業法の改正について、ホームページおよび広報紙を活用し周知を行った。	事業者への周知を行ううえで商工会議所、男女共同参画センターと情報共有を図りながら連携することが必要である。	国・県等から男女共同参画に関する情報提供があった場合は、周知に取り組む。また男女共同参画センターとともに周知を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	国・県等から男女共同参画に関する情報提供があった際に、継続して窓口へのチラシの配架、市ホームページへの掲載による周知を行えた。	産業振興課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	②男女共同参画に関する情報収集と調査研究

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
9	9	男女共同参画関係図書および情報の収集と提供	男女共同参画に関する図書および資料を整備し、提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・貸出人数9人 ・各種啓発講座にて、関連図書を展示し、情報提供を行った。 ・情報紙「きらきら」でおすすめ図書を紹介するコーナーを設けた。	感染拡大防止のため、施設内での図書閲覧を休止し、ちば電子申請サービスを活用した事前予約制による貸出としている。引き続き、利用しやすい方法を検討する必要がある。	情報紙「きらきら」の記事がきっかけとなり、貸出につながった事例もあることから、継続して図書の紹介を行うとともに閲覧の再開など、より利用しやすい方法の検討を行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	感染拡大防止のため休止していた図書の貸出について、電話またはちば電子申請サービスを活用して再開した。 また、各種啓発講座にて図書を展示するほか、情報紙にておすすめ図書を掲載し、男女共同参画に関する情報提供を図った。	男女共同参画センター
10	10	男女共同参画に関する意識調査の実施	次期基本計画策定の資料とするため、市民、事業所及び市職員の男女共同参画に関する意識調査を実施します。	【管理指標項目】 市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査の実施回数 【目標値】 現計画中に1回 【4年度実績】 実施なし	令和4年度は調査の実施なし。 (令和6年度実施予定)	令和4年度は調査の実施なし。 (令和6年度実施予定)	令和4年度は調査の実施なし。 (令和6年度実施予定)	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	該当期間は調査の実施なし。(令和6年度実施予定)	男女共同参画センター

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	③国際交流を通じた男女平等意識への理解の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
11	11	社会的性別（ジェンダー）の視点を持ち、国際交流の促進および国際理解に向けた情報の収集と提供	姉妹都市との交流を中心に、男女問わず、社会的性別（ジェンダー）の視点を持った市民の国際感覚の醸成を促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市国際交流協会に対し補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、活動を支援した。協会では、タスカルーサ市桜まつりへの参加・協力を行い、俳句コンテスト及び絵画コンテストに市内各小・中・高等学校生徒及び成人から数多くの応募があり、国際感覚の醸成を促した。	感染拡大防止の影響による渡航制限を受け、令和2年度から対面交流は実施できておらず、オンライン上のやり取りのみとなっている。現在、渡航制限が緩和され始めたことから、令和6年度には対面交流の再開を見込んでいるが、近年事業を実施していないため、直近で実施した平成30年度の事業内容を踏まえつつ、現状に合った交流計画について、市国際交流協会及びタスカルーサ市担当と協議する必要がある。	令和6年度の青少年の海外派遣・受入に向け、市国際交流協会との運営会議や市内学校との4校合同会議において打ち合わせるほか、適宜渡航状況を確認し、安全かつ安心な事業の実施準備を行う。また、タスカルーサ市担当とも協議を重ね、交流計画を立てる。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	令和2年度より続く新型コロナウイルス感染症の影響から、対面交流事業の実現には至らなかったため。	協働政策課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	①就学前における男女平等教育の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
12	12	保育所・幼稚園・こども園における男女平等の保育・教育の推進	乳幼児の保育や指導において、男女平等の視点に配慮したカリキュラムを行っているかを点検し、必要に応じて見直しを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	各施設で見直し・修正を図った今年度のカリキュラムを基に、年間を通して職員の意識の向上に努めてきた。	職員一人ひとりが自分の言動を振り返り、男女平等の視点を意識できるような場を設けたり啓発を持続したりしていく必要がある。	職員会議や朝礼などの時間を利用して、職員がより意識できるようにしていく。カリキュラムの見直しも必ず実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	日々の保育の中で、例えば、行事などの取り組み等の場で「男(女)児だから〇〇」などの決めつけがないように選択肢を設ける等の配慮が定着している。	こども保育課
13	13	保育・幼児教育関係者の男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施	保育所・幼稚園・こども園職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施します。	【管理指標項目】男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施回数 【目標値】年3回 【4年度実績】年3回	各施設での年間指導計画に基づき、人権研修では具体的な事例をあげたりチェックリストの利用などを実施してきた。	職員の意識の持続の観点から定期的に研修などを実施していく必要がある。	具体例やチェックリストなどの利用から、職員が自分を振り返り意識できるように工夫していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	チェックリストやDVD等の活用をすることで職員一人ひとりが意識することにつながった。	こども保育課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	②学校における男女平等教育の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
14	14	男女平等の視点を盛り込んだ人権尊重教育の推進	人権尊重教育の一環として、男女平等について学ぶ授業などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・道徳において小学5年生では男女差別の禁止、中学1年生では性別の違いなどに関わらずすべての人にとっての使いやすさを考えたユニバーサルデザインについて学習した。 ・中学3年生の社会科公民的分野における基本的人権において男女平等について学習した。	授業で学習したことが、学校生活の中でどのよう に反映されているか見えづらい。	道徳や社会科(公民)を通して男女平等について学ぶ授業を行うことや、学校教育全般を通して行うSDGs教育でも扱い、男女平等を推進していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教科の学習に加え、学校教育全般において、男女平等に対する意識の啓発を行い理解を深めているため。	指導課
15	15	男女平等の視点に立った教育相談、適応指導教室の実施	教育相談、適応指導教室においては、男女平等の視点に配慮し、個に応じた相談、指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	児童生徒、保護者に対し、人権に配慮した教育相談、適応指導教室の運営を行った。	人権教育を日頃から意識して取り組んでいる。また、現代的な課題(発達障がい、LGBTQ等)に対して、県や市からの最新の情報を得ることや研修会への参加を推進していく。	人権教育を念頭に置いて、教育相談、適応指導教室の運営を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	児童生徒や保護者との活動、相談の際には、多様性を念頭に応じて、指導や活動を行うことができたため。	総合教育センター
16	16	男女平等の視点に立った進路指導の実施	進路指導を行う上で、生徒や保護者に対し、男女平等の視点に配慮し、個に応じた指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・発達段階(学年)に応じた、進路学習を実施し、進路への意識を高めた。 ・各中学校にて進路説明会(保護者向け・生徒向け)を年間2回以上実施した。 ・3者面談、2者面談を通じて、個に応じた進路指導を実践した。 ・進路指導主任会議を年5回実施し、学校間の足並みをそろえた。	個々のニーズに応じた進路指導の実現のため、3年間を見通した計画をするともに、入試の実施形態等の多様な変化に対して、早期に準備し進路指導に臨む必要がある。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見据え、今年度同様、対面が難しい場合においては、ICTを活用して、個人面談や説明会を実施する。 ・入試の実施形態等の多様な変化に対して、早期に準備し進路指導に臨む。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	新型コロナウイルス感染症の状況を見据え、個に応じた実践をしているため。	指導課
17	17	男女平等の視点に立った職場体験学習の実施	職場体験学習を行う上で、男女平等の視点に配慮し、個に応じた職場体験学習に取り組めるようにします。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	職場見学、職場体験では、オンラインや講話を通して男女の分け隔てなく、個々の興味・関心に応じて行った。	男女平等の視点に配慮し、興味関心を活かした学びの場をより広げていく必要がある。	感染拡大防止の観点から、実際の体験や見学が難しい場合においても、男女平等の視点に配慮し、ICTの活用や講話を取り入れて実施する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女平等に職場体験を行ったり、職業講話を受けたりしているため。	指導課
18	18-1	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担(校務分掌)を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	各学校において、校長が学校教育目標の実現に向け、性別や固定観念にとらわれず、個の特性や長所を生かした職務分担を行った。	若年層教員が多く、リーダー的役割を担う人材の育成が課題である。	業務によって性別が偏ることがないよう人材を配置するとともに、チームで取り組む体制を各学校が工夫する。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	性別な固定感にとられない職務分担が行われているため。	指導課
18	18-2	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担(校務分掌)を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・管理職が職員の資質能力を生かした配置を行った。 ・職員の経験や個性を生かしチームで校務を推進する体制づくりを行った。男性女性に偏りがないよう配慮した。	男女の役割によって分担される事例はかなり解消されている。校内のリーダー的役割の分掌に、さらに女性の配置が多くなることが課題である。男女ともに資質向上が必要である。	・女性のリーダー育成に向けた啓発を各学校へ働きかける。 ・ICT活用の促進により分担されている業務の効率化を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女の役割によって分担される事例はかなり解消されている。校内のリーダー的役割の分掌に、更に男女とも教員の資質向上が必要であるが、女性が校内で重要な役割を果たしている学校が確実に増加している。	学校教育課
19	19	教職員の男女共同参画に関する研修への参加促進	県で主催する男女共同参画に関する研修への参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	教職員が、LGBTの理解促進も含めた男女共同参画に関する研修に参加した。	研修の時間を確保し、継続的に意識付けをしていく必要がある。	引き続き、教職員に対して男女共同参画に関する研修への参加を呼び掛ける。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画に関する研修を紹介し、参加を促し、県の人権教育資料等をおして啓発を図っているため。	指導課
20	20-1	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	特別活動を要とし、日常の学習や生活をおして、児童生徒が男女の分け隔てなく関わり、個々の個性と能力を高める学習活動を行った。	特別活動を要としながらも学校教育全体を通してよりキャリア教育を推進していく必要がある。	各学年の発達段階を考慮し、取り組む内容を精選し、男女の分け隔てなく取り組んでいく。行事や教科等と関連させながら、学習活動を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	特別活動を要とし、学校生活において男女の分け隔てない学習活動が行われているため。	指導課
20	20-2	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	日常の学校生活において、生徒自身が社会的責任及び能力を養っている。また、学校教育や生徒指導の観点からみても、日々男女分け隔てなく教育指導を行っている。	社会的責任及び能力を一層養うため、文化祭・体育祭・予餞会などの特別活動において、男女が分け隔てなく参加でき、生徒自身で考え行動できるような場面を、今後も考えていく必要がある。	学校行事に興味を持ってもらえるような企画を検討していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	日々の学校教育において授業・部活動だけではなく、男女ともに分け隔てなく参加できる文化祭・体育祭・予餞会など、生徒自身が考え行動できるよう、社会的責任及び能力を養える教育環境を整備している。	習志野高校(学校教育課)

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	③家庭、地域における男女平等教育・学習の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
21	21	男女共同参画に関する講座などの開催や情報の提供	男女共同参画に関する講座などの開催や情報提供を行います。	【管理指標項目】 男女共同参画に関連する講座の実施回数 【目標値】 各公民館で年1回以上 【4年度実績】 各公民館1回以上計18回	・全公民館、幼児家庭教育学級において、父親の参加を促すため、参加しやすい土曜・日曜に1回講座を実施した。 ・土曜・日曜に親子で参加する講座を実施し、父親の参加を促した。	父母ともに参加を促すため、参加しやすい日程を設定しているところだが、父親の参加が少ない。	引き続き、父母ともに参加を促すため、家庭教育や親子での講座を土曜・日曜に開催する。また、父親が参加しやすいような内容・周知を検討する	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	全公民館、幼児家庭教育学級において、父親の参加を促すため、参加しやすい土曜・日曜に1回講座を実施した。	公民館
22	22	男女平等の視点に立った幼児・PTA家庭教育学級の実施	幼児家庭教育学級およびPTA家庭教育学級の実施について、男女平等や男女共同参画の視点に配慮し、日程や内容などの検討を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・各公民館、幼児家庭教育学級において、父親の育児参加を促すため、参加しやすい土曜日に1回講座を実施した。	父母ともに参加を促すため、参加しやすい日程を設定しているところだが、父親の参加が少ない。	引き続き、父母ともに参加を促すため、土曜・日曜に開催する。また、父親が参加しやすいような内容・周知を検討する	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	全公民館、幼児家庭教育学級において、父親の参加を促すため、参加しやすい土曜・日曜に1回講座を実施した。	公民館
23	23	誰もが参加しやすい講座づくり	講座の実施について、誰もが参加できるよう日時・場所・保育などに配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・家庭教育や成人対象の講座において、誰もが参加できるように、土曜・日曜に講座を実施した。 ・子育てをしている人が参加しやすいように保育付きの講座を実施した。	誰もが参加しやすい日程や内容となる講座づくり、保育付き講座を増やす必要がある。	引き続き、働いている人や子育て中の人が参加しやすくなるように、日程や保育付きの講座を開催する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	幼児家庭教育と青年講座において保育付き講座にすることで、子育て世代でも参加しやすいよう講座を開催した	公民館

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	①多様な性を尊重する意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
24	24	性の多様性に関する理解促進	性の多様性に関する正しい理解を促進するための啓発活動を行います。また、パートナーシップ制度について調査、研究を行います。	【管理指標項目】 性の多様性に関する啓発の回数 【目標値】 年2回 【4年度実績】 年8回	①令和4年6月1日に習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度を施行。 ②令和4年5月及び7月に市民対象にLGBT講座を開催(参加者30人)。 ③習志野商工会議所発行の「商工ならしの」にて習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度について掲載。 ④広報習志野6月1日号「習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度が始まります」を掲載。 ⑤令和4年8月民生委員勉強会にて習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度について説明。 ⑥なるほど習志野「男女共同参画センター」にて習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度について説明。 ⑦小冊子「セクシュアルマイノリティと人権」を購入し、講座参加者の他、市民活動団体、公民館・図書館等に配布。 ⑧習志野連携の会にて習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度について説明。	習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の円滑な運営及び制度周知と並行して、引き続き性の多様性に関する啓発を行う必要がある。	LGBTに関する啓発は、継続的な取り組みが必要であることから、当事者団体に協力を依頼しながら2回開催予定。 習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の円滑な運営及び啓発活動を行う。また、都市間連携について制度導入自治体との協議を進めていく。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和4年6月1日より習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度を施行。令和5年3月31日時点で3件の宣言を受領した。 様々な媒体を通して制度周知を図るほか、関係団体に対して制度説明を通して、多様な性や生き方への意識啓発を図った。	男女共同参画センター
25	25	【新規】 公的証明書などにおける性別欄の廃止などの周知	市が所管・使用する書類について法的義務付けや事務の性質上必要であるものを除き、性別欄を廃止することおよびアンケート等で性別欄が必要な場合は、男女以外の選択肢の設定をすることについて庁内への周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	前回調査で公的書類性別欄の廃止について「廃止可」となっているものの継続使用されているものや「検討中」と回答していたものに対し、各課に追跡調査を実施した。	公的証明書及びアンケート等の作成時の性別欄の掲載方法について、引き続き啓発を行う必要がある。	多様な性の理解促進のため、追跡調査を実施し、引き続き不要な性別欄削除と啓発に努める。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	令和2年5月及び令和4年10月に公的書類等への性別欄掲載状況調査を実施。平成30年6月に実施した基礎調査以降、47件(全体の10.4%)の書類から性別欄が廃止された。 また、調査を通じて、各課の多様な性への理解促進につながった。	男女共同参画センター
26	26-1	【新規】 学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促した。	より多くの教職員が研修に参加できる環境を整えていく必要がある。	引き続き、性の多様性に関する研修への参加を促進していく。また、教職経験2年目～3年目の教職員に対して、LGBTに関する研修を位置づけ、理解を深めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教職員の研修に関わる紹介は継続できていることや、各学校で、制服の選択制や男女共習の体育の実施等、児童生徒の生活環境を改善する具体的な取組が行えているため。	指導課
26	26-2	【新規】 学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・可能な範囲での男女混合名簿の使用 ・モラルアップ研修の実施	男女混合名簿の使用は広がってはきているが、目的に応じて使い分ける必要がある。 モラルアップ研修をはじめ、管理職、会計年度任用職員等の研修にも性の多様性についての内容を取り入れ、学校全体の理解を促進することで、児童・生徒への理解をさらに深めていく必要がある。	各種研修に性の多様性についての内容を取り入れ、さらなる啓発を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	モラルアップや不祥事根絶といった各種研修会で全般的な内容の一つとして取り扱うことはあったが、性の多様性についてフォーカスした研修は行わなかったため。	学校教育課
27	27	【新規】 市職員に対する性の多様性に関する研修などの実施	新規採用職員研修において、性の多様性に関する内容を盛り込み、性の多様性に関する理解を促進します。	【管理指標項目】 市職員に対する性の多様性に関する研修の実施回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年1回	新規採用職員研修(後期)において、性の多様性に関する理解を深める研修を実施。 (令和4年11月,受講者数:39名)	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修(後期)の中で、性の多様性に関する内容についての研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した職員は、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」や「多様性」といった言葉を印象に残ったキーワードにあげるなど、研修を通じて人権を尊重することの大切さを学んだため。	人事課

28	28-1	【新規】 教職員の性の多様性に関する研修などへの参加促進	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	教職員が、LGBTの理解促進に関する研修に参加した。	研修の時間を確保し、継続的に意識付けをしていく必要がある。	引き続き、教職員に対して性の多様性に関する研修への参加を呼び掛ける。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	LGBTへの理解が促進されるよう研修の紹介を行い、参加を周知したから。	指導課
28	28-2	【新規】 教職員の性の多様性に関する研修などへの参加促進	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	県が主催する「性教育研修会」の参加を促した	令和4年度はWeb形式だったため、受講者が受けやすいところでの受講が可能であった。反面、受講期間が過ぎると視聴できないため、受講期間を失念していて受講できなかった職員がいた。	令和5年度もWeb形式だった場合は、受講期間のリマインドを行い、申し込み者が全員受講できるように努める。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	令和4年度もWeb研修だったため、受講者が受けやすい日に受講することができた。また、受講期間にリマインドを行い、全員受講できるように努めた。	学校教育課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	②人権侵害のない環境に向けた啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
29	29	人権尊重についての 広報と啓発	人権啓発のパンフレット等の配布や広報紙により人権強化週間などの周知を行います。また、人権擁護委員の人権啓発活動をサポートします。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	全国人権擁護委員連合会から提供された啓発冊子「種をまこう」を各中学校へ配布した。またヘイトスピーチ防止、北朝鮮侵害行為啓発月間、人権週間等法務局から提供されたポスターを公民館等公共施設に掲示依頼した。人権擁護委員の行う人権教室や各種コンテストに関し学校との連絡調整を行った。	令和4年度においては学校の年間行事やカリキュラム進行がまだ感染症拡大の影響を受けており、人権教室は3校で実施できたがコロナ前の令和元年度の実施数に届かなかった。今後、3学期に集中しがちな実施時期の平準化を図る等により、校数を拡大していかなばならない。	・法務省等各関係機関の作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発実施。 ・人権擁護委員が主体となって行う、人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテスト実施に係る学校、法務局等との連絡調整。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	法務省等各関係機関が作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発のほか、人権擁護委員が主体となって行う人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテスト実施し、人権に対する意識の醸成を図った。	社会福祉課
30	30	【女性活躍】 ハラスメントの防止 に向けた啓発	セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントに関する認識を深め、被害防止に向けた啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・令和4年8月発行職員啓発紙「ピーナ通信」では、令和4年10月に新設された出産時育児休業（通称：産後パパ育休）の概要を掲載し啓発に努めた。 ・令和5年2月実施の男女共同参画啓発講座では子育て中の男性を対象に産後パパ育休制度の概要及び子どもとのかかわり方等を学ぶ講座を開催した。	それぞれのテーマの啓発に対象や手法を変えて継続的に取り組む必要がある。	引き続き啓発方法や啓発機会の検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	広報習志野及び職員啓発紙「ピーナ通信」を通じて、市民及び職員に対する意識啓発を行った。 また、令和5年2月に実施した男女共同参画啓発講座の参加者アンケートでは、参加者全員から参考になったとの回答を得られ、男性の男女共同参画の意識の醸成につながった。	男女共同参画センター
31	31-1	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	商工会議所等との連携によるハラスメント防止の取り組みは実施できなかった。	打ち合わせの機会を持つことができなかった。	商工会議所との連携した啓発に向け、協議を進めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	商工会議所等との連携によるハラスメント防止の取り組みは市の働きかけができなかったことから、実施できなかった。商工会議所等と連携した取り組みの実施に向け、協議を進めていく。	男女共同参画センター
31	31-2	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	千葉労働局における「ハラスメント対応特別相談窓口」の開設及び職場のパワーハラスメント防止措置が全企業で義務化されたことをホームページおよび広報紙にて周知を図った。	職場で働く者への職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させる行為がなくなる取り組みについての情報提供はできたが、商工会議所等との連携・協力をし、幅広く事業者への啓発方法の検討が必要である。	引き続き、情報提供があった場合、習志野商工会議所等との連携・協力をし、事業者への周知に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	継続して、ハラスメントの防止に関する周知・啓発に努めることができた。	産業振興課
31	31-3	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・学校において不祥事根絶研修を実施した。 ・校長会議にて、わいせつ・セクハラ及び児童生徒への性暴力等への対応やパワハラについての取組み等の説明を実施した。	セクハラをはじめとしたハラスメントの防止や不祥事の根絶に向けて、当事者意識、切実感をもつことができるよう、継続的に研修を実施する必要がある。	管理職や会計年度任用職員等に対する研修を実施し、ハラスメント防止に向けた研修の充実を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教育委員会としてのパワハラ・セクハラについての対応を定め、校長会議等で説明するとともに、各学校での不祥事根絶研修に教育委員会職員を派遣し、各種ハラスメントの防止についての研修を実施することができたため。	学校教育課
31	31-4	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	主なもの ・労務管理研修(5級昇格者)やリスクマネジメント研修(6級管理職)を実施し、ハラスメントにおける、管理・監督者としての役割を学んだ。 ((【労務管理研修】令和4年9月30日受講者数:22名) ((【リスクマネジメント研修】:令和4年10月31日:36名)	ハラスメントについては、全ての職員が正しい理解と防止するための方策を学ぶ必要がある。	全ての階層別研修において、ハラスメント防止に関する内容を盛り込む。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	管理・監督者に対する研修に加えて、2級・3級昇格者を対象とした研修においてもハラスメント防止に関する内容を盛り込み、職員の意識の醸成等を図ったため。	人事課

32	32	性の商品化を防ぐための啓発	性の商品化を防ぐため、有害ビラや看板の撤去などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	有害ビラや看板の撤去活動は、実施していない。定期的な補導活動を実施した。街頭補導では、書店やコンビニの雑誌コーナーなどの巡回を継続した。青少年をインターネットトラブルから守るために「千葉県青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）」の月例報告について当該校に報告したり、会議等での資料提供を行ったりした。市では、「情報端末及びインターネットによるトラブル調査」及び「情報モラル教育実施状況調査」を市立小・中学校に実施し、調査結果を報告した。また、児童生徒向けに適正利用の啓発学習会を開始した。	近年、インターネットの普及に伴い、街頭のビラや看板を目にすることは、皆無であるが、定期的な補導活動を継続し、青少年健全育成関係団体との連携及び情報を共有することが不可欠となる。大型電器販売店に展示してあるタブレット等で、有害サイトにアクセスし、閲覧している事例もあるようである。店と連携し、未然防止に努めていく。主に小学校において外部講師を招いた講演会や研修を学校に推進していく。	インターネットの適正な利用方法について、児童生徒のみならず、保護者や地域の方も共有できるようにする。また、児童生徒をネット被害から守ることを目的として、「県青少年インターネット適正利用啓発講演・講師派遣」及び「市青少年インターネット適正利用啓発学習会」により啓発を行う。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	インターネットの普及に伴い、有害ビラや看板を目にすることは皆無だったが、定期的な補導活動を実施した。また、主に小学校において、県青少年インターネット適正利用啓発講演・講師派遣事業を周知するなど、外部講師を招聘した講演会や研修を推進した。	青少年センター
----	----	---------------	-------------------------------	--------------------------------------	---	--	---	---------------	---------	---------	---------	--	---------

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	①DV防止のための広報・啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
33	33	DVに関する啓発	啓発パンフレットの配布や広報紙、ホームページ等によりDVは人権侵害であることや「女性に対する暴力をなくす運動」の周知について広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・広報習志野4月1日号「若年層の性暴力被害予防月間」 ・広報習志野11月1日号「女性に対する暴力をなくす運動」 ・「女性に対する暴力をなくす運動」は11月にテレビモニターによる放映、市庁舎階段をパープルリボンで装飾するほか、市庁舎のライトアップ、男女共同参画推進団体及び協賛企業によるDVに関する掲示を行った。 ・国が作成したDVカードを市庁舎女子トイレに設置及び各課にチラシを配布した。 ・情報紙「きらきら」第55号にて、「若年層の性暴力予防月間」について掲載。	リモートワークの推進やステイホームにより、DVのリスクが高くなることを想定し、DVに関する啓発及び情報提供・相談窓口の啓発に努める必要がある。 今後もより多くの市民に情報提供できるよう掲示等の工夫を検討する必要がある。	・広報習志野4月1日号「若年層の性暴力被害予防月間」の掲載を予定。 11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の広報紙掲載及びテレビモニター掲載を予定。 11月は児童虐待防止推進月間であることから子育て支援課と連携し、オレンジリボン運動とDV防止のパープルリボン運動をあわせて、庁舎内の装飾による啓発を計画する。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	リモートワークの推進やステイホームにより、DVのリスクが高くなることを想定し、情報提供や相談窓口の周知のため、ステッカー、広報紙、ホームページ、ツイッターなど多様な方法で啓発に取り組んだ。	男女共同参画センター
34	34	児童虐待防止への啓発	ポスターやパンフレットの配布、研修などにより、児童虐待防止の啓発を行います。	【管理指標項目】 児童虐待防止への啓発回数 【目標値】 年1回以上 【4年度実績】 年6回	児童虐待防止の啓発活動 ①イオン津田沼にて啓発活動 ②広報誌掲載 ③テレビ広報動画配信 ④市庁舎内パネル展示 ⑤ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会 ⑥啓発動画作成・YouTubeへの投稿	特になし。	引き続き、児童虐待防止の啓発活動として、ポスターやパンフレットの配布、研修会の開催を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	11月の児童虐待防止推進月間を中心に庁内外で啓発活動を行うことができたため。	子育て支援課
35	35	児童・生徒の発達段階に沿った人権尊重の視点からの性教育の推進	児童・生徒の発達段階に応じて、男女の成長の違いや生命誕生の仕組みを学習し、児童・生徒が男女対等の立場で、互いの人権を尊重し合う教育を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市立各小・中学校での保健の授業等において、発達段階に応じてエイズや性に関する学習を行い、男女が尊重し合う資質を養う教育を実施した。	性の多様性(LGBTQ)について理解を深めていく必要がある。	引き続き、学習指導要領に則た性教育の中で、男女が互いの人権を尊重する態度を育成する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	授業や学活等で性に関する学習や性の多様化について、学ぶことができたため。	指導課
36	36-1	【新規】デートDVに関する啓発	デートDVに関する広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年11月に市庁舎1階展示スペースで行われた「女性に対する暴力をなくす運動」において、デートDVに関するチラシの設置及び配布を行った。	より多くの市民へ情報提供するため、チラシを持ち帰ってもらうための工夫が必要である。	様々な機会をとらえた啓発方法を検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野、情報紙「きらきら」及びパネル展示など、多様な場面での啓発に取り組んだ。	男女共同参画センター
36	36-2	【新規】デートDVに関する啓発	生徒に対して、デートDVに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	各学校における性教育の中でデートDVについても取り上げるよう依頼した。	各学校で計画している性と生の講演の中でデートDVについても触れることはできるが、その他の内容も盛りだくさんなため、深く掘り下げるのが難しい。	各校と担当講師との打ち合わせの中で、デートDVについても講演内容で取り上げるよう、依頼する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	令和2・3年度については、感染防止対策のため、性と生の講演を実施すること自体が難しい状況があった。また実施できた場合も、時間の関係でデートDVについて触れる程度しかできず、深く掘り下げるのが難しかった。	学校教育課
36	36-3	【新規】デートDVに関する啓発	生徒に対して、デートDVに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	各種相談窓口の周知。	小・中学生を対象としたデートDVに特化した啓発活動は今年度特に実施していない。	ポスター等による啓発を継続し、児童生徒が相談できる窓口については引き続き、周知を徹底する。	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	必要性が高いと考えられる高校生への啓発活動や相談窓口の周知について実施できているため。	指導課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
37	37-1	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】 相談員のDV研修などの参加回数 【目標値】 年2回以上 【4年度実績】 年8回	DVによる子どもへの影響等に関するWeb研修 8回参加	令和4年度のDV・児童虐待関係の研修は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からZOOMでの開催が主であったが参加できた。	引き続き、DV・児童虐待関係の研修への参加により、多様化する課題に対応できるよう専門性を高めていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談員が積極的に研修に参加したことで、専門的な知識が深まり、結果として多様な相談に対し柔軟に対応できたため。	子育て支援課
37	37-2	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】 相談員のDV研修などの参加回数 【目標値】 年1回以上 【4年度実績】 年20回	・研修に参加した相談員による、報告、資料配布等で全体で共有した。 ・スーパービジョン研修を通して、講師の先生から多様な相談内容について指導いただいた。 ・DVが疑われる段階で他の機関との連携を迅速に図った。	DV啓発、男女共同参画に関する研修会に相談員が個人で参加し、それを共有した。多様な相談内容に対応するためには、日頃から外部機関との連携や、相談員の資質向上が必要である。	・関係機関との日頃からの連携に努める。 ・DV等社会情勢にあった相談に対応できるよう、研修会への参加や資料により研修を促していく。 ・スーパービジョン研修で引き続き、多様化する相談内容への助言をいただく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・相談ケースの共有を図り、その中でDV等との関連が見られる場合、ケース会議等を通して話し合うことができたため。 ・相談員の自主研修によって学んだことをケース会議や資料等を用いて、他の相談員に啓発できたため。	総合教育センター
38	38-1	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	アウトリーチ型相談支援事業としてこどもセンターに出向き、子育て相談の日事業を実施した。	コロナ禍による社会情勢の変化に合わせた相談対応として、積極的なアウトリーチを行うことができた。	引き続き、社会情勢の変化に合わせた相談対応を行い、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。子育て相談の日事業を引き続き実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	こどもセンター等に出向く子育て相談の日事業を実施し、子育て中の親の声を聴くこと、相談に応じることができたため。	子育て支援課
38	38-2	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	DVについて相談があった場合は関係機関と連携を図りながら対応していくこととし、関係機関との体制の構築に努めた。	DVに関する最新の知見を情報収集する必要があると感じている。	関係機関との連携体制のさらなる構築に努める。 研修などを通じて新しい情報の収集に努める。 相談者が安心して相談できる環境や体制づくりに努める。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	DVについて相談があった場合は関係機関と連携を図りながら対応していくこととし、関係機関との体制の構築に努めたため。	ひまわり発達相談センター
39	39	女性の生き方相談の充実	女性の生き方相談の充実を図るとともに、関連する相談機関との連携を図り、相談者の支援、保護に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	感染対策を図り年60回の相談を実施。 相談終了後はカウンセラーから報告を受け、情報共有と連携が必要なケースは速やかに連携を図った。 相談件数 220件(うち新規61件) 他機関への連携 37件 DV相談件数 66件	利用者アンケートやこれまでの運営方法の見直しを図り、より充実した相談体制を構築する必要がある。	見直しを図った運営方法により、相談者が安全・安心に相談のできる環境を整え、より良い相談体制の構築を図る。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和2年度において減少した相談件数は増加傾向にあり、以前と同等の相談件数となっている。感染対策を図りながら継続して相談を実施し、相談者の支援に取り組んだため。	男女共同参画センター
40	40	男性の生き方に対する相談体制の充実	相談者の訴えをしっかりと受け止め、必要に応じて専門相談機関などと連携を図りながら相談支援を実施します。また、男性相談の実施について検討します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・男性からの相談11件(妻からの暴力3件、家族からの暴力5件、元交際相手からの暴力1件、家族との関係に関する悩み2件)	男性からの相談は職員が対応し、千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介している。相談件数の推移等を見ながら、男性相談の実施について研究する。	本人の話を伺い、必要に応じて関係機関の紹介を行う。 専門相談員による男性相談の実施について検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談者の話を伺い、必要に応じて千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介し、状況に応じた相談窓口を案内している。	男女共同参画センター
41	41	健康相談事業の充実	健康な生活ができるよう、必要な情報提供を行います。また、必要に応じて関係機関と連携し、適切な対応をします。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	地区保健活動全体で安心できる相談体制に努めた。相談内容に応じて、必要な情報提供・相談に努め、速やかに関係機関との連携対応に努めた。	コロナ禍から新しい生活様式への移行に伴う心理的・身体的・社会的な変化から生じる課題を把握する必要がある。	引き続き、広報やHP、健康教育等の機会で周知を図り、市民が相談しやすい体制を整えていく。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	健康に関する相談を受ける中で、背景にDVがあることを把握し、関係機関につなげることができた。当事者も認識できていないDVを把握できたこともあった。	健康支援課

42	42	高齢者への情報提供と相談の充実	市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、虐待や暴力などを受けている人々についての相談に対応し、情報提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を随時、行った。	高齢者虐待の認識不足や、家族間の関係性から生じる問題について、介入の困難さがある。	相談窓口の周知や、虐待についての啓発に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を行った。 また、相談業務に当たる職員が研修を受け、適切な対応を行った。	高齢者支援課
43	43	【新規】障がいのある人への情報提供と相談の充実	関係課と連携を図りながら、障がいのあるDV被害者についての相談に対応し、情報提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	障がい者虐待防止センターとして、配偶者等からの虐待を受けてた障がい者に対し相談等支援に応じた。	本人の心身の状況を踏まえた支援を実施していくにあたり、困難課題を持つ方については、長期的な支援を要することがある。	関係課及び相談支援専門員等と連携し、本人の意向を踏まえ、支援に必要な情報提供に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	随時本人の相談にのり、問題解決に取り組むことが出来た。	障がい福祉課
44	44	DVに関する相談窓口の周知	配偶者暴力相談支援センター等のDV相談窓口について、チラシ等の配布や広報紙、ホームページ等の掲載により周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	DVや暴力に関する相談窓口の案内を広報習志野11月1日号に掲載。女性に対する暴力をなくす運動期間にパネル展示を行い、相談窓口の周知を行ったほか、市庁舎トイレ等にDV相談ナビのステッカーを貼付した。また、情報紙「きらきら」第55号では性暴力をテーマに相談機関の啓発・周知を行った。	DVや暴力に関する情報や、相談窓口の案内について、広く周知する必要がある。	様々な機会をとらえた啓発を検討する。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	広報紙による啓発の他、DVや暴力に関する相談窓口の周知を目的としたパネル展示を実施し、情報提供を行った。	男女共同参画センター

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	③DV被害者の生活再建に向けた支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
45	45-1	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	DV被害者の緊急一時保護の実績1件(令和4年8月)。DV相談の対応として、生活相談課、高齢者支援課、子育て支援課、警察署、女性サポートセンター等と相談・連携し対応した。令和4年4月1日より配偶者暴力被害者緊急避難支援を開始。緊急避難時に一時的に必要な交通費・宿泊費・食費の支給を可能とした。DV防止推進担当課長会議にて、配偶者暴力被害者緊急避難支援の概要説明を行い、共通理解を図った。	緊急避難支援の制度について関係各課への周知を図る。	緊急一時保護の申し出があった際は、個々の状況に応じて関係各課や外部機関と連携を取りながら支援を行う。緊急避難支援費用の申し出があった際は状況を確認し、適切な支給を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	緊急一時保護の申し出があった際に、関係各課及び外部機関と連携を図りながら適切に対応している。個々の状況に応じた避難支援策として、令和4年4月1日より配偶者暴力被害者緊急避難支援を開始した。	男女共同参画センター
45	45-2	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	関係機関との連携を取り、被害者を迅速にシェルター等につなぐ支援を行った。	児童相談所・女性サポートセンター・警察等の関係機関との連携強化が必要。	各関係機関との連携を図り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談があった際に関係機関と連携をとり、迅速かつ適切な支援ができたため。	子育て支援課
46	46	DV被害者支援制度についての情報提供	DV被害者を支援する制度について、被害者の状況に応じた情報提供や証明書の作成など自立に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	電力・ガス等価格高騰緊急支援給付金の支給にあたり、DV等被害の確認証の発行を行った。(6件)	電力・ガス等価格高騰緊急支援給付金の確認証の発行について、国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行の希望があった場合は、窓口等の情報提供を行う必要がある。	DV被害者等が必要とする証明書等の発行について、窓口等の情報提供を行う。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	臨時特別給付金及び電力・ガス等価格高騰緊急支援給付金における確認証の発行について国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行希望があった場合は、関係機関を案内し、情報提供を行った。	男女共同参画センター
47	47	生活困窮に関する相談支援	生活に困窮するDV被害者に対し、らいふあっぷ習志野において、相談に応じます。生活保護による支援が必要な場合は、生活保護制度につなぎます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年度、らいふあっぷ習志野でDVに関する相談は5件あり、そのうち生活保護制度につないだ件数は0件だった。5件中1件は男女共同参画センターにつなぎ、その他は弁護士等必要な支援へつないだり、離婚協議や実家への帰省に向けた相談支援を実施した。	緊急性がある場合は、つなぎ先や支援の検討等の迅速な対応が難しい場合がある。	緊急対応が出来るよう、連携先の確認、対応の仕方など、日頃から検討会を催し、自己研鑽を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談及び同行等を行い、他機関と協力して支援を行いました。	生活相談課
48	48	高齢者への自立支援	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた高齢者の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用を迅速に支援した。	高齢者施設の空き室の確保が困難になっているため、即日の保護が厳しい状況になっている。各施設や関係機関との連携と情報共有が、ますます必要となっている。	引き続き、関係機関との日頃の連携を強化し、迅速な判断を行い、適切な対応をしていく。また、虐待に関する周知について努めている。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用を迅速に支援した。	高齢者支援課
49	49	障がいのある人への自立支援	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用につなげ、支援を行った。	施設利用については、本人の意思確認を行う必要があることから、支援が長期化しやすい傾向があった。	関係機関と連携を図り、虐待からの早期解決に向け、本人の意向を踏まえ支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	本人の意向を踏まえた支援を実施出来た。	障がい福祉課
50	50	住宅に関する情報提供	DV被害者が新たな生活の場を見つけるため、市営、県営住宅などの公営住宅の優先入居などに関する情報を提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	DV被害者に特化した窓口ではないことやDV被害のみを事由にして優遇抽選対象となるわけではないため、率先して情報提供することはできないが、被害者及び相談窓口担当課より依頼があれば情報提供する。	令和4年度市営住宅の募集において、DV被害者に優遇抽選対象となる旨を周知していたが、応募実績はなかった。	情報提供については、継続して行い、今後の市営住宅応募の際に優遇抽選対象について、関係機関を通じて、募集制度の周知に努め、DV被害者等の救済方法の一つとして連携していく。また、らいふあっぷ習志野等外部機関との連携も深めていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	令和4年度市営住宅の募集において、DV被害者に優遇抽選対象となる旨を周知していたが、応募実績はなかったため。	住宅課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	④DVの防止と対応のための関係機関等との連携・協力

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
51	51	庁内関係部署との連携	DV防止推進関係課長会議の開催や庁内関係部署との連携を図り、情報の提供や共有に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	DV業務にかかる関係課長で構成する「DV防止推進関係課長会議」の開催。 第1回 令和4年7月24日 令和4年4月1日より施行となった習志野市配偶者暴力被害者緊急避難支援等実施要綱について支援内容の周知及び令和3年度のDV状況の報告を議題とし、その他情報漏洩時の対応について報告を行った。	DV・虐待等や情報漏えい時については迅速、適切に対応を行う必要がある。作成したフローチャートについて、定期的に庁内への周知を行い、適切な対応を行う必要がある。また、配偶者暴力避難支援についても関係各課へ周知を図る必要がある。	DV等被害者への適切な対応を図るため、情報共有、庁内周知に努める。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	DV・虐待等の対応について、フローチャートを作成し、関係課との連携強化を図った。また、「DV防止推進関係課長会議」を通じて、庁内へ周知した。	男女共同参画センター
52	52-1	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年10月に法テラス千葉県令和4年度地方協議会に出席し、法テラスの取り組むDV、高齢者、障がい、生活困窮者への支援について、情報収集を行った。 令和4年11月に令和4年度DV被害者支援連絡会議に参加し、他自治体及び他機関(警察・女性サポートセンター)の業務や支援方法を学ぶとともに、事例検討を行い、各関係機関としての役割の確認を行うことができた。	引き続き連絡会議に参加し情報共有を図るとともに、関係機関との連携についてに検討する必要がある。	関係機関との連携について検討する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	県が主催する連絡会議等へ出席し、他自治体及び他機関の業務や支援方法について積極的に情報収集を行い、必要に応じてその内容を連携する庁内関係部署の情報提供を行った。	男女共同参画センター
52	52-2	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	県主催の連絡会議に出席したほか、ならしの子どもを守る地域ネットワークにおいて情報交換に努め、児童相談所、警察、民生委員などと積極的に連携を図った。	関係機関(児童相談所、警察、民生委員・児童委員など)との情報交換の際は最新の情報を取得することが必要。	引き続き、県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各連絡会に出席し、情報収集に努めた。ならしのこどもを守る地域ネットワークの会議では情報を共有したため。	子育て支援課
52	52-3	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。 地域住民と行政のパイプ役として活躍している民生委員児童委員に有益な情報を提供するように努め、常に連携強化を図ることができた。	引き続き、連携を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード・チラシを各地区の民生委員児童委員に配布し、周知することで、相談活動に資することができた。	社会福祉課

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	①市政における女性の参画の推進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
53	53-1	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、令和4年12月に総務部次長、協働経済部次長の連名で庁内各部署が所管する審議会等において、女性委員の積極的な登用依頼を通知し、女性委員のいないまたは1割未満の担当課には女性登用の進まない理由及び今後の見通しについて調査を実施した。 (令和4年4月1日現在) ・女性委員のいない審議会等 6件 ・女性委員登用率 29.6%	庁内各部署に、審議会等の女性委員登用に関する依頼の通知を行っているが、平成29年度以降3割に達していない。 今回の調査結果から、委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き協力を要請する必要がある。	引き続き女性登用がされない審議会等を所管する担当課に、その理由や今後の方向性等について、実態を確認する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	庁内各部署に、審議会等の女性委員登用に関する依頼の通知を行っているが、平成29年度以降3割に達していない。委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き協力を要請するため。	男女共同参画センター
53	53-2	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	審議会等における委員の委嘱の際に、担当課からの事前協議の段階で、男女共同参画の視点から委員構成を検討するよう指導した。	各審議会等の担当者に男女共同参画の視点からの委員構成を検討することが、まだ十分に意識付けされていない。	引き続き、事前協議の際などに、男女共同参画の視点からの委員構成を検討するよう呼びかけ続けるとともに、指針等の周知を推進する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	女性委員の登用の意識を高めるため、公募委員選考委員会に使用する様式において、女性委員の登用率を記載するよう変更した。	総務課
54	54	男女共同参画の視点を持った人材の情報提供	男女共同参画の視点を持った人材の情報を収集し、提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年度における情報提供依頼なし。	令和4年度におけるリストの活用については依頼がなく、有効に活用されていない。 平成29年度に活用促進のため要領改正を行ったが、利用状況は変わらず人材リストの整備の在り方について、検討が必要である。	人材リストの整備の在り方について検討する。	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	リストの活用がないため、人材リスト整備の在り方について検討が必要のため。	男女共同参画センター
55	55	開かれた議会への取り組み	市民により一層身近で親しみやすい市議会を目指し、ホームページや市議会報の改善に取り組むとともに市議会報をより多くの人に読んでもらえるよう努めます。	【管理指標項目】 市議会報の発行回数 【目標値】 年4回 【4年度実績】 年4回	前年度に引き続き、ホームページの改善を心掛け、市民が求める情報の掲載に努めた。 また、市議会報については、新聞折り込み及び駅への設置のため市議会報の駅前配布ができず、より多くの人に読んでもらうための取り組みが困難であった。	開かれた議会を目指す取り組みとして、議会報編集委員が中心となり、市民にとってよりわかりやすい市議会報を目指し作成を行ったが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため市議会報の駅前配布ができず、より多くの人に読んでもらうための取り組みが困難であった。	ホームページや市議会報の掲載内容・レイアウト等を定期的に見直し、市民が必要とする情報を速やかに発信できるよう努める。 また、より多くの市民に市議会報のポスティングサービスを利用していただけよう、引き続き、ホームページや広報習志野を利用して周知を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	より多くの人に市議会報を読んでもらうための取り組みは、市議会に興味を持ち、市政に対する理解を深め、多様な分野に参画するきっかけになるため。	議会事務局
56	56	【女性活躍】 市役所女性職員の活躍推進	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき、女性が働く職域の拡大を図ります。また、指導的立場につく女性に対して、各種研修の参加を促進するなど育成・支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	女性活躍推進研修を実施。 (令和4年11月22日,受講者数:25名)	主体的にキャリアを形成することで、仕事に対する意欲を高めていく必要がある。	令和5年度においても、女性活躍推進研修の実施を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	職種や階級の違う、様々なロールモデルとの意見交換を実施し、これからの働き方について考える研修の場を提供できたため。	人事課

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	②事務所等における多様性(ダイバーシティ)の促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
57	57-1	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度や女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・認定・表彰制度のパンフレットを講演会等で配布した。 ・令和4年5月 市庁舎1階展示スペース「ワーク・ライフ・バランス事業所調査報告」 ・令和4年5月、7月「性の多様性講座」(会場参加者11人)にて配布 ・令和4年6月 「習志野市男女共同参画週間事業」(会場参加者20人)にて配布 ・令和4年10月「女性のための再チャレンジ支援講座」(15人)にて配布 ・令和5年2月「男女共同参画啓発講座」(12人)にて配布	認定・表彰制度の認定を受けている事業者の取り組みを取材し、メリットを紹介するなど、パンフレットの内容を精査し更新していく必要がある。	また、商工会議所と連携し、パンフレットの更新に取り組む。作成したパンフレットは市民向けの講座等で配布し、市民への周知に活用する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを作成し、各種講座及び展示の際に設置及び配布を行ったため。	男女共同参画センター
57	57-2	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度や女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	「えるぼし」について、ホームページの関連リンクに厚生労働省の内容を記載している。	関係機関と連携し、認定に向けた支援方法を構築することが必要である。また、現在掲載しているホームページについて、一部、数値が古いものが見受けられたため、最新の内容に更新を行った。	引き続き、女性活躍推進法に基づく千葉県男女共同参画推進事業所表彰認定制度について、関係機関と連携を図りながら、周知を行う。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	制度の内容については、継続してホームページでの周知が行えたものの、関係機関との連携があまり行うことができなかった。	産業振興課
57	57-3	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)に市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架している。また、同センターの女性会員増のため、入会説明会の周知を広報習志野で実施した。	高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)においては女性会員が少なく、女性会員の増加が課題となっている。	引き続き高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)の実施する女性会員増のための入会説明会等の実施を広報習志野で周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	シルバー人材センターに市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架しているほか、女性会員数増加のためシルバー人材センターが実施している女性限定の入会説明会の実施について、毎回広報習志野にて周知をしている。	高齢者支援課
57	57-4	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	未実施		職員においてもトモニンの認知度が低いため、事業実施の際などに併せて周知を図る。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	イベント等が中止になる等、周知の機会が減少したことから実施できなかったため。また、職員においてもトモニンの認知度が低いため併せて周知する必要がある。	障がい福祉課
57	57-5	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	仕事と家庭の両立に取り組む企業や働く人への支援として、窓口へのチラシの配架を行った。「トモニン」についても、窓口にて配架を行い周知を図った。	庁内だけでなく、関係機関と連携し、市内事業所、市民などへの周知が必要である。	引き続き、男女共同参画センター等、関係機関と連携し、市内事業所、市民に向けて周知を行っていく。「トモニン」についての周知については、今後、ホームページにて紹介ページを作成し、周知を図っていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	窓口へのリーフレットの配架の周知に留まってしまった。関係機関との連携があまり行えなかった。	産業振興課
57	57-6	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度「くるみん、プラチナくるみん」や、習志野市子育て支援先端企業認証制度の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	習志野市子育て支援先端企業認証制度について、ホームページコンテンツへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口を設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	千葉県の「社員いきいき元気な会社宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が継続している。	引き続き、習志野市子育て支援先端企業認証制度をさらに周知するため、ホームページの更新や商工会議所・青年会議所などにも周知する等、新規認証事業者の参入を図るとともに、制度の見直しを検討する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかったため。	こども政策課

57	57-7	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度「くるみん、プラチナくるみん」や、習志野市子育て支援先端企業認証制度の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	仕事と家庭の両立に取り組む企業や働く人への支援として、窓口へのチラシの配架を行った。また「えるぼし」については、引き続きホームページの関連リンクに厚生労働省の内容を掲載した。	関係機関と連携し、認定に向けた支援方法を構築することが必要である。	引き続き、男女共同参画センター等、関係機関と連携し、市内事業所、市民に向けて周知を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	ホームページにより制度の周知、および窓口へのチラシの配架を行うことはできたが、関係機関との連携はあまり行うことができなかった。	産業振興課
58	58	【女性活躍】 女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所に対する入札制度における優遇（インセンティブ）の付与	女性の活躍やワーク・ライフ・バランス等の実現に向けて、積極的に取り組む事業所の受注機会を増大する公共調達のしくみを導入します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年度は総合評価落札方式での入札はなかった。	令和4年度は総合評価落札方式での入札はなかった。	地方自治法では契約の締結においては価格競争が原則となっており、例外として総合評価落札方式を適用できるため、優遇の付与が出来る事業に限られる。対象となる入札において男女共同参画等に関する項目を設定するよう更なる周知を図る。 【次期計画に向けた問題点・改善点】 継続的に事業を実施する。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	総合評価落札方式での入札がなかったため	契約検査課
59	59	【女性活躍】 認定（表彰）を受けた優れた事業所の取り組みに対する情報発信	認定（表彰）された事業所やその取り組みを、好事例として市民、事業所、学生などに向けて幅広く情報発信します。また、このような取り組みを進める事業所を増やします。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを講演会等で配布した。	具体的な認定・表彰を受けている市内事業所の取り組みについて紙面の内容を更新し、情報発信を行う必要がある。	情報紙「きらきら」は、年1回は事業所関連の記事掲載を計画していることから、働き方の多様性に関連した記事を検討し、情報発信に努める。また、商工会議所と連携し、パンフレットの更新に取り組む。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを作成し、各種講座及び展示の際に設置及び配布を行ったため。	男女共同参画センター

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	2 まちづくりにおける男女共同参画の促進
施策の方向	①地域活動における男女共同参画の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
60	60	町会・自治会などの活動への男女の共同参画意識の啓発および意思決定への女性の参画促進	連合町会連絡協議会との連携のもと、町会・自治会などの活動の啓発と男女共同参画意識の向上に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	連合町会連絡協議会及び連合町会への財政的支援として、補助金を交付した。自治功労者顕彰式において、各町会より男女問わず推薦があり、25名の方々が受賞した。また、連協事務局として、連合町会連絡協議会主催視察研修等への参加を働きかけた。行政問題学習会は、約180名の参加があり、市のごみ行政の学習会を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響から、現在においても町会・自治会活動や会議の多くが制限されており、実施できた行事の参加人数をみても、コロナ禍以前の参加人数までには達していない。今後の行動制限の緩和に伴い、町会・自治会活動の再開に係るモチベーションを復活させることが重要である。	引き続き、年代、性別等を問わず興味を持って参加できるテーマを設定し、視察研修及び行政問題学習会を実施する。また、これまで以上に地域の女性からの意見を反映させるため、連合町会連絡協議会における町会・自治会等女性役員連絡会の設置について、各連合町会長へ意見を伺い、現在の女性役員の割合を把握するとともに、設置について協議を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各地区連合町会への補助金交付をとoshi、地域活動活性化へ広く貢献できた。自治功労者顕彰式や行政問題学習会にも多くの町会・自治会関係者の出席があり、コロナ禍により停滞していた行事等再開へのきっかけにつながった。	協働政策課
61	61	市民活動団体の支援ならびに市民活動およびボランティア活動の情報提供	市民活動団体を支援するとともに、「習志野市ボランティア・市民活動センター」と連携を図りながら、市民活動およびボランティア活動の情報提供に努め、性別にかかわらず、市民活動に参画できるように促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市民等から団体の紹介を求められた際に、年齢や性別にかかわらず市民協働インフォメーションルーム登録団体の紹介(地域情報ポータルサイト)やボランティア・市民活動センターを紹介するなど対応を行った。市民活動団体と市民活動に興味・関心のある人が参加する交流会において、地域情報ポータルサイトの周知および市民活動の情報提供を行った。	会員の高齢化に伴い、新規会員の募集や新たな公益的な事業に取り組む団体が少なくなっている。	引き続き、市民等からの問い合わせに対して年齢や性別にかかわらず適切に対応する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	講座や交流会の開催時に地域情報ポータルサイトを周知することにより、市民活動に関する情報提供を効果的に行うことができた。	協働政策課
62	62	ボランティア活動の普及・啓発	公民館利用サークルが、男女ともに日々の活動成果を地域・社会に還元できるように支援します。また、学習圏会議の活動において男女ともにボランティア活動に参加できるような場を提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・全公民館において、公民館利用サークルの活動成果を発表する展示や実演発表を行う市民文化祭を開催し、各サークルから運営ボランティアとして参加してもらった。また、公民館利用サークルに講師を依頼し、子ども講座を開催した。 ・学習圏会議では、音楽祭や各イベントを実施し、学習圏会議の会員のほか、PTAや中学生等に運営ボランティアとして参加してもらった。	・サークル、学習圏会議とも、高齢化により、人数が縮小している。 ・コロナ禍前と比較して、参加者・来場者が少ない状況にある。	文化祭や音楽祭等をコロナ禍以前の規模で開催できるように取り組んでいく。あわせて、学習圏会議の活動の周知を図っていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	・全公民館において、公民館利用サークルの活動成果を発表する展示や実演発表を行う市民文化祭を開催し、各サークルから運営ボランティアとして参加してもらった。また、公民館利用サークルに講師を依頼し、子ども講座を開催した。 ・学習圏会議では、音楽祭や各イベントを実施し、学習圏会議の会員のほか、PTAや中学生等に運営ボランティアとして参加してもらった。	公民館

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画活動できる環境
課題	2 まちづくりにおけるい男女共同参画の促進
施策の方向	②防災における男女共同参画の促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
63	63	男女共同参画の視点を盛り込んだ防災体制の整備	女性および性の多様性に配慮した地域防災計画とするための点検や見直し、ならびに防災用品の整備と避難所運営に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	男女共同参画の観点から、地域防災計画の見直しを検討した。各避難所の配備職員に1名以上の女性を指定した。	引き続き、各避難所に女性職員1名以上を配備し、女性の視点から避難所運営ができる体制づくりを行う。男女共同参画の観点から、防災会議の女性委員の割合を増やし、地域防災計画の修正を行うことが課題である。	避難所配備職員に女性を1名以上指定する。防災会議の女性委員の割合を増やすため、委員の委嘱にあたり、可能な範囲で各関係機関等に促す。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各避難所へ女性職員を1名以上指定したほか、防災会議の委員について、積極的な女性委員の推薦を依頼するなど、女性の視点を盛り込んだ防災対策を推進できたため。	危機管理課
64	64	【新規】防災対策における男女共同参画の意識啓発	市民や市職員に対して、防災対策における男女共同参画や性の多様性についての意識啓発を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市民や職員への意識づけについて、自主防災組織リーダー研修会や、総合防災訓練を実施し、意識啓発を行った。	引き続き、訓練等を通じて、防災の取り組みにおける男女共同参画や性の多様性の重要性について、啓発していく必要がある。	訓練や研修会等の機会を活用し、男女共同参画や性の多様性の重要性について、市民や市職員へ啓発し、理解度をさらに高めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	総合防災訓練、危機管理講演会等の開催を通じ、市民、職員等が避難所運営における女性に配慮した対策について理解を深めるなど、意識啓発を行うことができたため。	危機管理課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	①雇用の分野における男女の機会均等、待遇改善の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
65	65-1	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	パワーハラスメント防止対策の義務化に関すること、千葉県内における最低賃金が改正されたことについての周知をホームページや広報紙等で周知を図った。	情報提供の周知については、男女共同参画センター等と連携が必要である。	男女共同参画センターとともに周知を実施する。特に、雇用分野に関する情報提供があった場合は、関係機関の周知に取り組む。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	継続してホームページや広報紙等での周知は行えたものの、男女共同参画センターとの連携があまり行えなかったため。	産業振興課
65	65-2	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年4月1日より段階的に施行された育児・介護休業法について、庁内啓発紙「ピーナ通信」で職員に啓発したほか、同法にて新設された出生時育児休業についての概要を学ぶ講座を令和5年2月に開催した。	引き続き、関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う必要がある。	関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	女性活躍推進法改正(令和2年6月)に伴う「プラチナえるぼし」の施行及び「一般事業主行動計画策定義務の対象拡大」について、認定・表彰制度のパンフレットに掲載した。作成したパンフレットについて、商工会議所会員に配布し、周知を図った。	男女共同参画センター

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	②農業従事者、自営業等における男女共同参画の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
66	66	農業従事者における家族経営協定締結の推進	家族で農業経営に携わる各世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を推進します。	【管理指標項目】 農業従事者における家族経営協定締結数 【目標値】 現計画中に14戸 【4年度実績】 1戸(合計13戸)	新たに家族経営協定を1件締結し、合計13戸となった。	引き続き制度周知が必要	引き続き農業者の会議等において制度周知を行う。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	新たに家族経営協定を1件締結し、合計13戸となった。	産業振興課
67	67	【女性活躍】 農業従事者などにおける男女の経営参画の啓発	家族経営を基本としている農業従事者などにおいて、男女が対等に経営に参画しやすい環境づくりを進めます。	【管理指標項目】 農業従事者などに対する男女の経営参画についての研修、啓発の回数 【目標値】 年1回以上 【4年度実績】 1回	若手農家世帯に対し、女性の経営参画について説明、周知した。	引き続き周知が必要	引き続き女性の経営参画の周知を行っていく。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	若手農家世帯に対し、女性の経営参画について説明、周知した	産業振興課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	③女性の起業、再チャレンジ支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
68	68	【女性活躍】 職業能力・技術を習得する学習情報の提供	就労セミナーの開催、就労相談・就労情報の提供を行います。	【管理指標項目】 就労を支援するセミナー等の女性参加者数 【目標値】 10人以上 【4年度実績】 61人 内訳(個別相談人数除く) 習志野市 23人 浦安市9人 船橋市29人	千葉県ジョブサポートセンター及び近隣5市(市川市、八千代市、鎌ケ谷市、浦安市、船橋市)と共催で女性向け再就職支援セミナーを実施した。 また、セミナー終了後、就職するまでの生活に関する全般的な相談を受ける個別相談会を実施した。 主催幹事市：習志野市、浦安市、船橋市	本市主催のセミナーにおいて、託児施設の用意ができなかったことが課題である。	次年度においても引き続き女性向けのセミナーを実施し、併せて託児施設を用意する。 引き続き男女共同参画センターと共同でセミナー実施の周知活動に取り組む。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	広報、ホームページ等周知を図り、本市主催のセミナーを確実に実施することができた。	産業振興課
69	69	【女性活躍】 創業に関する情報提供	市内で、創業・開業しようとする市民に対する資金融資などに関する情報の提供を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	感染防止対策を行ったうえで、対面により、ならしの創業塾での講義や市融資制度により情報提供を行った。	創業を目指している方へ、ならしの創業塾などで情報提供はできたものとする。	創業しようとする市民に対し、資金融資等に関する情報の提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	商工会議所と連携を図り、計画通り事業を実施することができた。	産業振興課
70	70	【女性活躍】 創業を支援する講演会などの開催	商工会議所などと連携し、創業に関する相談窓口の設置や講演会、創業塾などを開催し、市内での創業を支援します。	【管理指標項目】 創業を支援するセミナー等の女性参加者数 【目標値】 5人以上 【4年度実績】 市主催(ならしの創業塾) 修了者25人 (性別確認なし) 千葉県信用保証協会主催(創業スクール) 上期 会場:習志野市 参加者30名 男性16名(53%) 女性14名(47%)	創業をサポートするため、「ならしの創業塾」の開催や千葉県信用保証協会の「創業スクール」を本市を会場として共催した。 ・市主催:ならしの創業塾 講義等6回(年1回) ・千葉県保証協会主催、共催習志野市:創業スクール 講義等4回(年2回)	創業を目指す方や、創業して間もない方に対し、必要な基礎知識を習得する機会を継続的に実施していく必要がある。	引き続き、創業に対する支援を行い、市内における創業への促進、支援を継続的に実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	継続して、事業を実施することができた。いずれの計画年度においても、目標値を上回ることができた。	産業振興課
71	71	【新規】【女性活躍】 就労や再就職に関する情報提供	ふるさとハローワーク等と連携し、就労や再就職に関する情報の提供を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	国と共同で設置している「ふるさとハローワーク」、および国と船橋市が協働事業を実施している「ふなばし地域若者サポートステーション」事業に参画し、若年無業者等の職業的自立を促すことを目的として、就労や再就職に関する情報提供を行った。	近隣市や就労支援機関等と連携し、就労・再就職に向けた、事業の情報提供、支援の検討を図る必要がある。	引き続き、ふるさとハローワーク等と連携し、就労や再就職を求めている方に対し、就労等の情報提供を実施するとともに、ふなばし地域若者サポートステーション事業に参画し、働くことに悩みを抱えている若年者等の就労支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	関係機関と連携し、確実に実施することができている。	産業振興課

72	72	【女性活躍】 再チャレンジ支援講座の実施	就労を支援する講座などを実施します。	【管理指標項目】 女性のための再チャレンジ支援講座の開催回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年1回	令和4年10月「女性のための再チャレンジ支援講座～ホンキに点火～」を開催。就労にむけて意欲と能力のある女性が活躍できる社会をめざし、再就職、起業、自己啓発等を希望する女性の意識を高め、具体的な行動プラン設計のための基軸づくりを3回にわたって行う講座とした。また、令和4年4月に決定した女性デジタル人材育成プランに基づき、3回講座のうちの1回をデジタルスキルに関する内容で実施した。	女性が活躍できる社会をめざし、就労支援する講座を実施する必要がある。	商工会議所等関係機関と連携を図り、デジタル人材育成に向けた連続講座を実施する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	女性が活躍できる社会をめざし、就労を支援する講座を実施。受講後に実施した追跡調査では、就業または起業に向けて準備をしているとの回答があり、再チャレンジ支援につながった。また、講座参加者が学習したい内容を調査し、次年度以降の講座に反映させる等積極的な講座開催を検討している。	男女共同参画センター
----	----	-------------------------	--------------------	---	--	------------------------------------	---	---------------	------------	------------	------------	--	------------

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	①働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
73	73-1	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	関係部署と連携し、働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む市民を増やします。(市民)	【管理指標項目】 市民に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年2回	令和4年5月に市庁舎1階展示スペースにて、昨年度実施したワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査の報告とともにワーク・ライフ・バランスについてパネル展示を行った。 広報習志野3月15日号では、ワーク・ライフ・バランスについてのコラム記事を掲載した。	ワーク・ライフ・バランスの意識啓発のため、多様な場面をとらえ取り組む必要がある。	一人ひとりがどのようにしたら、仕事と生活の調和が図れるのか、啓発紙や講座テーマに取り上げるなどして啓発に取り組む。	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和3年度にワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査を実施。調査結果に関するパネル展示や、広報習志野への掲載等機会を捉え、市民への周知を行うことができたため。	男女共同参画センター
73	73-2	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所が増えるよう、関係部署と連携し、必要な働きかけを行っていきます。(事業所)	【管理指標項目】 市内事業所に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年4回 広報習志野 8月1日号、 9月15日号、10月15日号、2月15日号	事業所に対し、ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業者が増えるよう、年次有給休暇制度の計画的な取得促進を促すため、広報習志野、ホームページにて周知を図った。 新しい働き方や、就労環境に関するセミナーのリーフレットを配架した。 8月1日号「年次有給休暇の計画的付与制度、時間単位の年次有給休暇制度の導入」 9月15日号「10月1日～10月7日全国労働衛生週間」 10月15日号「10月は年次有給休暇取得取得促進期間」 2月15日号「冬季における年次有給休暇の取得促進について」	広報習志野やホームページでの掲載に留まらず、より一層の周知について、手法の検討が必要である。	ワーク・ライフ・バランスについて、各事業所への意識付けを着実に行っていく必要があることから、より一層、関係機関と連携を図り、継続的に周知していく。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野、ホームページの掲載等の周知を確実に行った。	産業振興課
73	73-3	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	職員の時間外勤務の削減や、男性の育児休暇などの取得促進を図るとともに、働き方の見直しに取り組めます。また、市職員へのワーク・ライフ・バランスの意識啓発に取り組めます。(市職員)	【管理指標項目】 市職員に対するワーク・ライフ・バランス研修の実施回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年1回	・時間外勤務の削減などを含めたワーク・ライフ・バランスを実現するため、働き方改革の一環として、時差出勤やテレワークの実証実験を実施した。 ・2～3級職員を対象としたキャリアデザイン研修においてワーク・ライフ・バランスに関する講義を実施した。(令和4年6月14日実施)	・窓口や相談業務など業務の性質上、テレワークの導入が難しい部局が多く、導入が一部の部局に留まっている状況である。	・実証結果を踏まえて、令和5年度にテレワークの本格導入を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	課題に記載したように業務の性質上、時差出勤やテレワークの導入が難しい部局が多く、利用者は増えなかったものの、職員の多様な働き方を可能とするものであり、一定の効果はあった。	人事課
74	74	【女性活躍】 パラレルキャリアに関する講座の実施	本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催し、参加者同士の交流を図りながら、パラレルキャリアを有するいきいきと働く人を増やします。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年9月にパラレルキャリア講座「得意×シゴト＝∞(無限大)『複』業で変わる新しい自分」を開催予定であったが、講師都合により中止となった。男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第54号では、パラレルキャリア実践者を取材し、特集記事とした。	多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する必要がある。	引き続き、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	感染拡大防止及び講師都合により、パラレルキャリア講座については令和3年度の実施となったが、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第54号にてパラレルキャリアに関する記事を掲載し、周知啓発を図った。	男女共同参画センター
75	75	【女性活躍】 仕事と子育ての両立に関する制度の周知	市内事業所における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	【再掲】習志野市子育て支援先端企業認証制度について、ホームページコンテンツへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口に設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	【再掲】千葉県の「社員いきいき元気な会社宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が続いている。	【再掲】引き続き、習志野市子育て支援先端企業認証制度をさらに周知するため、ホームページの更新や商工会議所・青年会議所などにも周知する等、新規認証事業者の参入を図るとともに、制度の見直しを検討する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかったため。	こども政策課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの促進
施策の方向	②固定的な性別役割分担意識の見直しの促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
76	76-1	【女性活躍】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施	家庭内の男女共同参画を推進するため、固定的な性別役割分担意識を見直す講座などを実施します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施回数 【目標値】 年1回以上 【4年度実績】 年2回	・令和4年6月男女共同参画週間事業を開催。(オンライン含む参加者47人) 性別による思い込みを含めた無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)についてグループワークを取り入れた講演会を実施した。 ・令和5年2月に子育て中の父親を対象に男女共同啓発講座を開催した。 育児休業制度を学ぶとともに男性の積極的な家事参画に向けた講演会を実践も交え行った。	性別、年齢に関係なく参加しやすい環境整備について手法を検討する。	手法を検討しつつ、シニア世代の家事参画や父親の育児参画など、性別役割分担意識の見直しにつながる啓発の取り組みを行う。	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各種講座の参加者アンケートでは、9割以上が参考になったと回答しており、固定的性別役割分担意識を見直すきっかけとなったといった感想も多く見られたため。	男女共同参画センター
76	76-2	【女性活躍】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施	家庭内の男女共同参画を推進するため、固定的な性別役割分担意識を見直す講座などを実施します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施回数 【目標値】 各公民館で年1回以上 【4年度実績】 各公民館1回以上全18回	・全公民館、幼児家庭教育学級において、父親の参加を促すため、参加しやすい土曜・日曜に1回講座を実施した。 ・土曜・日曜に親子で参加する講座を実施し、父親の参加を促した。	・父母ともに参加を促すため、参加しやすい日程を設定しているところだが、父親の参加が少ない。	引き続き、父母ともに参加を促すため、家庭教育や親子での講座を土曜・日曜に開催する。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	父母ともに参加を促すため、家庭教育や親子での講座を土曜・日曜に開催した。	公民館
77	77	「ママ・パパになるための学級」の充実	安心して妊娠・出産・子育てに臨めるように、知識や技術を提供するとともに、両親が共に子育てを担っていけるように支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	参加者の8割は妊婦とパートナーで参加。 妊娠中から産後の生活を夫婦でイメージできるよう働きかけをし、男性の育児休業制度について周知を図った。 1課は自己学習、2課のみ集団で講義形式で行い、3課はオンラインで実施した。	感染防止対策により、参加者同士の交流や仲間づくり、体験実習の機会をすべて再開させることは難しかった。 オンラインの活用については、徐々に参加者が増加傾向にある。 参加した方からの反応は概ねよく、出産・育児への準備や心構え、夫婦で協力して取り組む必要性など、とても役に立ったとの声が多かった。	感染防止対策の緩和に伴い、短縮していた開催時間を延長し講義内容を充実させる。 赤ちゃん人形の抱っこ体験に加え、妊娠シュミレーターを用いたパートナーの妊婦体験を再開する。 引き続き、男性が積極的に育児取得ができるよう情報提供を行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	感染防止対策を取りながら、赤ちゃん人形の抱っこ体験を加えて実施した。コロナ禍により、在宅ワークが増えたのか、ほとんどの方が妊婦だけでなく、パートナーの方と一緒に参加されていた。	健康支援課
78	78-1	男女共同参画の視点を含めた啓発紙・パンフレット等の発行	子育てや介護などに関するパンフレット・チラシ等の作成に際し、男女共同参画の視点を含めた紙面づくりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	出生や転入に係る手続をされる保護者を対象に配布している子育てハンドブックや孫育てハンドブックの作成にあたり、男女共同参画の視点に立った子育て支援につながるよう、紙面づくりに配慮した。	作成した冊子について、広く手に取ってもらえるよう周知を進めていく必要がある。	パンフレット・チラシ等の作成に際し、内容やイラスト等を確認し、男女共同参画の視点を含めた紙面づくりを行っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・男女共同参画の視点を含めた紙面づくりに努めた。	子育て支援課
78	78-2	男女共同参画の視点を含めた啓発紙・パンフレット等の発行	子育てや介護に関するパンフレット・チラシ等の作成に際し、男女共同参画の視点を含めた紙面づくりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知用パンフレット作成と配布、広報への掲載等、制度理解のための啓発を行いました。	特になし	介護制度について認識してもらえるよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パンフレットの配布等により、介護が必要な方の家族や周囲の方のみでなく、今後必要となる方についても制度の周知が図られた。広く周知を図ることにより、介護負担が特定の家族に偏ることなく社会全体で支える意識を広めることができた。	介護保険課
79	79	父親の子育て参画を意識した情報提供	保育所・幼稚園・こども園の事業実施において、父親の子育て参画を促す情報の提供を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	園(所)の様子を掲示物やたよりなどでより状況が伝わりやすい写真を入れたり、取り組みを丁寧に伝えたりし、行事などに興味をもって出席してもらえるように意識した。	コロナ禍ではあったが、行事は中止せず方法を工夫して実施した。運動会や発表会などの大きな行事に、父親が参観されるケースが多かったことから、引き続き子育てに興味関心をもってもらえるような発信の仕方、成長を実感してもらえる機会を設けていく必要がある。	園からの情報発信するものの内容、行事などへの取り組みの様子の伝え方の工夫を継続していく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	行事の取り組みや日々の保育の様子をこまめに配信してきたことで、子育てに関心をもつことにつながったと考える。運動会や発表会、卒園式などの行事に父親の参加が多く見られた。	こども保育課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
80	80	男女が参加できる地域開放の充実	保育所所庭開放や幼稚園の子育てふれあい広場について、実施内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 保育所所庭開放日数 【目標値】 現計画中に各施設週2回以上 【4年度実績】 各施設月2日程度実施 【管理指標 項目】 子育てふれあい広場と施設開放の実施回数 【目標値】各施設年間6回以上 【4年度実績】 各施設年6回実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制にて実施した。	引き続き男性職員も関わる体制を作り、男性が参加しやすい雰囲気を作ることが必要。	子育てふれあい広場に男性職員も加わり、男性も参加しやすい雰囲気作りに努める。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	子育てふれあい広場では、予約制での実施ではあったが両親で参加する利用者が少しずつ増えた。	こども保育課
81	81	多様な働き方を支援するための保育の拡充	保育所・こども園における時間外保育、産休明け保育、一時保育、預かり保育の実施内容などの拡充を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	長期休業中も預かり保育を実施した。	引き続き、多様なニーズに対応するための体制作りが課題。	一時保育の予約について、利用者の利便性を高めるよう努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	長期休業中の預かり保育の実施が定着し、ニーズに応じることができるようになってきた。	こども保育課
82	82	病児・病後児保育の周知	市内の病児・病後児保育の周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	令和4年4月1日からキッズケアルームなでしこが休室になったことに伴い、その周知を進めた。市内こども園や保育所に入所する児童の保護者に対して、病児・病後児保育施設のチラシを配布した。病児・病後児保育施設の情報を広報に掲載した。	病児・病後児保育施設の利用がしやすくなるよう、利用方法の案内等を周知していく必要がある。	リーフレット・チラシの配布と併せて、病児・病後児保育施設の情報を広報に掲載する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	保護者へのリーフレット及びチラシの配布や子育てハンドブック掲載、市民への広報やホームページ掲載等により、様々な方法で、事業の周知に努めた。	子育て支援課
83	83	ファミリー・サポート・センター事業などの充実	相互援助や組織の活用を行い、サービスメニューの拡大などや会員の確保を行うとともに、研修内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 ファミリー・サポート・センター入会説明会の実施回数 【目標値】 定例会説明会38回、地域入会説明会4回、土・日入会説明会3回 【4年度実績】 定例会説明会31回、来庁入会説明42回、訪問入会説明5回	定例会説明会を行った。定例会説明会に来られない方については、個別に来庁・訪問入会説明で随時対応した。	定例会説明会に来られない方について、個別で来庁・訪問入会説明ができることの周知方法を検討する必要がある。	定例会説明会と併せて、来庁・訪問での入会説明を行う。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、修会等を定期的に行い、会員の知識や技術の向上を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策をし、可能な範囲内で利用会員、提供会員を対象とした研修会等を定期的に行い、会員の知識や技術の向上を図った。	子育て支援課

84	84	保育所についての 情報提供の充実	働きやすい環境づくりのため、 保育所入所に関する情報の提 供に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	昨年度に引き続き、「広報習志 野」及びホームページに保育所 等入所募集記事を掲載し、ホー ムページにおいて月ごとの施設 別・年齢別空き状況を掲載した。 また、4月募集の申込み状況（申 込者、承諾者、不承諾者）、入所 選考の基準早見表及び同点審 査表、各施設の年齢ごとの承諾 者数及び承諾者の最低点数を ホームページにおいて公表し た。	LINEを利用した情報提供の仕方について、検討 する。	令和4年度に引き続き、「広報習志 野」及びホームページへ募集記事を 掲載し、ホームページにおいて月ご との施設別・年齢別の空き状況を掲 載する。また、4月募集の申込み状 況（申込者、承諾者、不承諾者）や入 所選考の同点審査表、各施設の年 齢ごとに承諾者の最低点数をホーム ページにおいて公表する。 この他、マイナポータルによる電子 申請受付を開始する。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	こども保育課窓口をはじめ、広報習 志野及びホームページにて保育所 等入所募集記事を掲載するととも に、ホームページにおいて4月募集 の申し込み状況、各月の空き状況を 掲載した。 また、保育所等の一覧に施設の特色 などを掲載するとともに、各保育所等 にホームページの充実を依頼し、情 報提供に努めた。	こども保育課
85	85-1	子育て支援拠点で の男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日 の開所などにより平日利用でき ない家庭も利用しやすい施設づ くりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	習志野市こどもセンター（鷺沼） については土曜日、きらっ子 ルームやつでは土曜日、日曜日 に開所し、平日に利用できない 父親や共働き家庭等の利用増 加に努めた。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のた め、人数制限を設けた予約制での利用となっ ており、自由に来所できない現状がある。	・今後も、習志野市こどもセンター （鷺沼）は土曜日に開所し、きらっ子 ルームやつは土曜日と日曜日に開 所し、平日に利用できない父親等の 利用促進を図っていく。 ・「室内の予約制・人数制限」及び 「飲食を伴うイベント・行事」に関し ては、状況を見ながら緩和を検討す る。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	・土曜日、日曜日を開所することによ り、平日に利用できない父親や共働 き家庭等の利用促進に努めた。 ・窓口に手続きに来た際には、施設 の説明を行い、利用促進に努めた。	子育て支援課
85	85-2	子育て支援拠点で の男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日 の開所などにより平日利用でき ない家庭も利用しやすい施設づ くりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	新型コロナウイルス感染症のた め、イベントとしての実施はでき ませんでしたが、父親も参加しや すい雰囲気作りに努めたことで、 土曜日に父親が参加する家庭も 見られるようになった。	引き続き、父親の参加を促すような企画や雰 囲気作りに努めることが課題。	土曜日に父親参加イベント等を企画 するとともに、平日のこどもセンタ ーでも、男性が利用しやすい雰 囲気作りを行う。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	父親でも参加しやすい雰囲気作りに 努めたことから、少しずつではあるが 土曜日の利用者が増えた。	こども保育課
86	86	地域で支える子育 ての機運の充実	地域ぐるみの子育て支援体制 を推進するため、関係機関との 連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	習志野市こどもセンター（鷺沼） での地域世代交流事業につい て、新型コロナウイルス感染症 の感染拡大防止のため中止と なった。 きらっ子こどもまつりを2年ぶりに 開催した。 『ならしの孫育てハンドブック』を 配布し、子どもが健やかに成長 することができる環境づくりに努 めた。	各種イベントや、地域ボランティアの協力により 行っていたミニ講座等について、新型コロナウ イルス感染防止対策のために実施できていない現 状がある。	新型コロナウイルス感染症の感染防 止対策を講じた上で、各種イベント等 を実施できるよう検討する。 『ならしの孫育てハンドブック』の配布 を行う。	B:あまり貢 献できな かった	B:あまり貢 献できな かった	A:貢献でき た	A:貢献でき た	・きらっ子こどもまつりを2年ぶりに開 催することができ、地域交流のきっ かけとなった。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を継 続して配布した。	子育て支援課
87	87	放課後児童会の充 実	放課後児童会の施設整備を図 り、充実した運営の提供に努 め、安心して働くことができる環 境づくりに取り組みます。また、 支援員に対し、男女共同参画に 関する研修を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	放課後児童会の施設整備を図 り、1～3年生及び特別な支援を 要する児童の全入制を維持し、 年度途中には希望する全ての児 童が入会することができた。ま た、令和5年4月開設に向けて谷 津第六児童会、谷津南第四児童 会の整備及び職員不足の解消 を目的とした民間業務委託を進 めた。 男女共同参画の理解を深めるた め研修会においてリーフレットの 配布を行った。	働く保護者の仕事と子育ての両立と待機児童ゼ ロを目指して児童会の施設整備と運営業務委託 に取り組んだ結果、児童会施設の充実と待機児 童ゼロは進んだが、もう一つの課題である児童 会の職員不足は解消されていない。 男女共同参画の理念やジェンダーに関する理解 を深めるため、また多様化する社会へ対応して いくために定期的な研修や指導が必要である。	待機児童0を維持するために、引き 続き職員の雇用、施設整備並びに運 営業務委託等を実施する必要がある。 多様化する社会の中で、影響を受け やすい小学生の時期において、児童 と育成支援及び家庭環境の支援が 求められているなか、それに応じた 職員の経験やスキルアップの必要が ある。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	待機児童ゼロを目指して児童会の施 設整備と運営業務委託に取り組んだ 結果、児童会施設の充実と待機児 童ゼロを達成した。	児童育成課

88	88	子育て支援相談の充実	こどもセンター、きらっこルームの周知を行うとともに、子育てに関する情報提供を行い、安心して子育てできるよう、個々の家庭に応じた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	習志野市こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつの利用者に対し、利用者や直接コミュニケーションをとる中で子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。こども部窓口の子育て支援コンシェルジュの職員が各施設に訪問し相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、事業を継続していく必要がある。	習志野市こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、併せて、子育て支援コンシェルジュ（利用者支援事業）につきましても周知を図っていく。こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努めていく。引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・習志野市こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつにおいて、子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 ・こども部窓口にも子育て支援コンシェルジュを配置し、子育てに関する相談・情報提供、相談支援の体制を強化した。 ・子育て支援コンシェルジュ養成講座を実施し、男女共同参画についての研修を行った。	子育て支援課
89	89	乳幼児に対する健康相談などの充実	乳幼児の健康相談などを通じて、子どもの発育・発達を確認するとともに、生活習慣や生活リズム等の子育てについての相談に応じ、子育てへの不安を軽減し、より良い親子関係が形成できるよう支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	4か月児健康相談では、感染防止対策のため、3～6か月児健康診査を受診済みの児については身体計測、発達確認を実施していなかったが、年度途中より、全員実施に戻した。10か月児健康相談の集団実施は中止したが、ハイリスク者には個別に対応した。また、ホームページの内容を充実させ、周知した。	コロナ禍での子育てで、これまで以上に育児不安や経験不足等の課題が出てきている。健康相談の内容をどう充実させ、支援していくかの検討が必要。	引き続き、乳幼児の健康相談を通じて、子育てへの不安を軽減し、安定した家族関係の中で育児ができるよう支援する。父の参加も再開したため、父母での子育てをサポートする。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	新型コロナ感染症の状況に応じて、方法を適宜変えながら実施ができた。相談を通じて、子育てへの不安を軽減させ、安定した家庭環境（父母の関係を含む）の中で育児ができることの大切さを伝えられたと思われる。	健康支援課
90	90	保健福祉サービスの充実、介護予防の推進	介護予防に関する事業や市民同士の支え合い活動などについての情報を高齢者にも十分提供し、これらの活動に男女が互いの特性を生かしあって参加できるよう支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	介護予防教室として、運動器の機能向上教室と認知症予防プログラムを実施し、介護予防に対する意識を高め、活動性の維持・向上への支援をした。	介護予防の内容の充実とあわせて、より多くの高齢者が参加できる機会の確保が必要である。	認知症予防プログラムを継続するとともに、運動器の機能向上教室を拡大して実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教室の開催方法を変更して、感染防止対策を実施しながらも教室の開催をすることができた。	健康支援課
91	91	介護保険制度の内容理解に向けた啓発	「介護保険制度」について、性別にかかわらず、家族の負担軽減につながるよう、制度の啓発に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知用パンフレット作成と配布、広報紙への掲載等、制度理解のための啓発を行った。	特になし	介護制度について認識してもらえよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パンフレットの配布等により、介護が必要な方の家族や周囲の方のみでなく、今後必要となる方についても制度の周知が図られた。広く周知を図ることにより、介護負担が特定の家族に偏ることなく社会全体で支える意識を広めることができた。	介護保険課
92	92	介護者の支援体制の充実	市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行った。各センターから機関紙の発行を行った。家族の相談対応件数 6,964件（R5.3末現在）	各センターにおいて、個々に相談を受ける中で、家族構成や介護者の生活状況など総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができている。	相談先としての認知度を上げるため、引き続き高齢者相談センターのパンフレットや機関誌の配布によりセンターの周知を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各センターにおいて、個々に相談を受ける中で、家族構成や介護者の生活状況など総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができている。センターの設置によりいつも対応できる体制となっている。	高齢者支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安全に暮らせる環境づくり
課題	1 生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	① 生涯にわたる健康維持への情報提供と相談の充実

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
93	93	年代や個々に応じた健康教育、健康相談の充実	年代や性別に応じた健康教育の実施や個々に応じたきめ細やかな相談に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	世代や性別等、対象者に合わせた情報提供を心がけ、健康教育や健康相談を行った。関係団体に出席講座の周知を図るとともに、庁舎内で健康情報の展示を行った。	集団で実施する健康教育の機会はコロナ禍で減少し、令和4年度はやや回復したが、コロナ禍以前の状況には戻っていない。健康相談については、感染防止対策を講じて個別に対応しており、以前と比較し、受け入れ可能数が少ない。	コロナ禍に縮小した健康相談を、感染対策レベルに応じた方法で実施していく。まちづくり出前講座や公民館の講座等の機会を活用し、各年代や性別に応じた健康相談・健康教育を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	コロナ禍の影響で、健康教育・健康相談とも縮小せざるを得ない状況があったが、実施方法を模索し感染防止対策を取りながら継続することができた。	健康支援課
94	94	健診（検診）に関する情報提供および受けやすい体制の整備	妊婦・乳幼児健診、成人の健康診査（がん検診など）の事業の充実、整備、情報の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	健診（検診）の受け方等、男女で異なるものについては、リーフレットに掲載し、事前に情報提供をした。	性別、対象年齢に応じた情報提供を行う必要がある。	健診（検診）の受け方等、情報提供に努めるとともに、対象者が受けやすい受診体制を整備していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	コロナ禍の影響で、集団健診（検診）の実施方法の変更を余儀なくされたが、実施方法を模索し感染症対策を取りながら継続することができた。	健康支援課
95	95-1	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	小・中学校と連携し、生活習慣病予防健康教育を行った。 実施校 中学校 第1、第2、第3、第4 小学校 津田沼、大久保、大久保東 対象者 1,174人	引き続き、学校と連携して啓発する必要がある。	地域保健において、小中学校生活習慣病予防教育等、対象に合わせた普及啓発活動を行い、より多くの対象者へ健康教育が行えるよう、啓発方法を工夫していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	コロナ禍の影響で、小・中学校生活習慣病健康教育の実施件数は減少したが、徐々に回復傾向になっている。	健康支援課
95	95-2	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	県主催の薬物乱用防止教育研修会への教職員の参加について依頼し、各校1名が必ず参加するよう促した。また各校に薬物乱用防止教室の実施を依頼した。	児童生徒に対しては、体育や保健体育の中で適切な指導を行っている。また外部講師による薬物乱用防止教室を実施しているが、市内小中学校の全体の半数にとどまっている。	中学校においては、全校が薬物乱用防止教室を実施するよう、依頼していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	体育や保健体育の中で適切な指導を行っている。また外部講師による薬物乱用防止教育についても、適切に行うよう依頼している。	学校教育課
96	96	「生命と性」の健康についての理解の向上	各中学校区の実情に合わせ、中学校区地域保健連絡会などにおいて、「生命と性」の健康についての理解の向上に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	中学校区地域保健連絡会を上期・下期で2回開催した。新型コロナウイルス感染防止対策のため、全体研修会は中止とした。	コロナ禍で各機関での取り組みも中止や縮小されたものがあり、今後の再開に向けて、関係機関が情報交換、情報共有しながら取り組んでいく必要がある。	次年度は全体研修会を開催し、各中学校区地域保健連絡会の取り組みを充実させていきたい。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	中学校区地域保健連絡会を令和4年度は各中学校区で2回開催でき、関係機関と情報交換、情報共有することができた。	健康支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	1 生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	②安心して妊娠・出産できる環境に向けた支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
97	97	切れ目ない母子健康支援	「妊娠届出」時に必ず保健師が妊婦やパートナーと面接し、その後のすべての節目の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目のない母子健康支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	妊娠届出は保健師、助産師が全数対面で実施。妊娠期からの継続した支援を行った。 外国語を母国語とする方も多く、ポケットクの使用や外国語版母子健康手帳交付など、もれなくサービスを受けられるよう丁寧な対応を実施。	妊娠届出時にパートナーや家族が同席する場合は、家族関係や妊娠の受け止め等のスクリーニングが十分できないこともあり、注意が必要である。 また初回面接だけでは把握できないことも多い。	出産・子育て応援事業が開始となることに伴い、妊娠期の支援を強化することができるため、それを活かし、さらに切れ目のない母子健康支援を充実させる。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	妊娠届出の全数把握、面接についてはコロナ禍においても続行し、切れ目ない支援を実施している。 妊娠の受け止め、パートナーとの関係について気になることがあれば、地区担当につなぐなど連携を図ることができている。	健康支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心に暮らせる環境の整備
施策の方向	①男女共同参画の視点に立ったひとり親家庭に対する支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
98	98	ひとり親家庭への相談体制の充実	関係機関との連携による情報収集により、個々のひとり親家庭の状況に応じた相談に対応します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	ひとり親家庭に対する支援制度をまとめた「ひとり親家庭支援のしおり」を作成し、ハローワークや養育費相談支援センター等の関連機関のリーフレット等と合わせて面談や電話により案内を行った。 ハローワークと連携して自立・就労に向けた支援を行うことができた。	相談内容が多岐にわたるため、関係機関との迅速な連携・対応が求められることから、適切な指導を行うために常に最新の情報収集に努める必要がある。	ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、引き続き関係機関との連携により情報収集を行いながら、ひとり親家庭における家庭の相談に応じた指導・助言・支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・自立に向けた支援をするにあたって必要な制度の情報収集に努めるとともに、関係機関と連携をとることにより、個々のひとり親家庭の状況に応じた総合的な支援を行うことができた。	子育て支援課
99	99	ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進	ひとり親家庭の生活の安定に資するため手当を支給するとともに、医療費の助成により福祉の増進を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	2カ月に1回児童扶養手当受給者に対し、手当を支給した。 ・新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、ひとり親世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。 ひとり親家庭等医療費等受給資格者に対し、保険診療分の医療費の全部又は一部を助成した。	頻回受診などの受診件数及び扶助費の増加が懸念される。	ひとり親家庭の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当の受給資格を認定し、手当を支給する。 ひとり親家庭等医療費助成の利便性の向上を持続するため、受給券を遅滞なく発行し、受給者による頻回受診などを軽減するためホームページ等で周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当を支給することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図った。 ・習志野市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例に基づき、母子家庭の母子及び父子家庭の父子等の医療等を助成することで、母子及び父子家庭等の福祉の増進を図った。	子育て支援課
100	100	ひとり親家庭の自立に向けた支援	ひとり親家庭の就労による自立を促進するため、給付金の支給や関係機関との連携により支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	児童扶養手当現況届提出時に出張ハローワークによる臨時窓口を子育て支援課窓口を設置し、就労相談に繋いだ。 雇用の安定に向けて職業技能を身につけるため、指定された教育訓練講座を修了した者に、自立支援教育訓練給付金を支給した。 6月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる者に対し、高等職業訓練促進給付金を支給した。 ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業を開始し、個々のニーズに対応した自立支援プログラムを策定した上で、ハローワーク等と連携し、自立に向けた支援を行った。	就業していない児童扶養手当受給者等に対し、今後もハローワークへの案内と合わせて資格取得についても案内し、就職に有利となるよう努める必要がある。 安定した就労に就くため、児童扶養手当受給者等が個々の課題や状況を把握し、計画的に資格取得や就職ができるよう支援する必要がある。	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、資格取得を目指す児童扶養手当受給者等に対し、安心して資格取得ができるよう経済的支援を行う。 就労支援について、月1回ハローワークの巡回相談を実施し、ひとり親の就労に繋げられるよう支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・就労支援等の関連に関する制度等の情報収集に努め、これまで以上にハローワークとの連携を強化し、ひとり親の自立に向けて支援したことにより、就職による経済的自立を図ることができた。	子育て支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②男女共同参画の視点に立った高齢者、障がいのある人、外国人に対する支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
101	101-1	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	千葉県生涯大学の案内を行い、学習意欲のある高齢者の学習機会の場と情報を広く提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	生涯大学校は新型コロナウイルスにより令和2年度、3年度と休校したが、令和4年は休校で学ぶことができなかった入学者を対象に再開した。令和5年度の入学案内について広報習志野で周知をしたほか、窓口で希望者に願書を配布した。	2年間休校となったことで、今後、県及び市町村で更なる情報提供を実施し、生涯大学校というものを再認識してもらう必要がある。	広報習志野において生徒募集、内容等の情報提供を行うほか、市窓口でも願書を配布する。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	新型コロナウイルスによる休校のため、令和2年度、3年度、4年度の学生の募集は実施できなかったが、令和5年度の入学者を対象に募集となった。募集に際して令和4年度の広報習志野で周知したほか、窓口で願書の配布を実施した。	高齢者支援課
101	101-2	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	高齢者対象の学習機会、千葉県生涯大学の案内などの情報を広く提供します。また、公民館活動において、高齢者を対象とした男女共同参画の視点に立った講座を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・60歳以上を対象とした寿学級を実施し、男女問わず取り組めるようにプログラムを作成した。 ・千葉県生涯大学の案内を館内に配置した。	・参加している学級生が高齢化しているため、参加者の体力にあわせたプログラムを検討する必要がある。 ・寿学級への男性の参加が少なくなっている。	引き続き、学級生の体力や興味関心を考慮し、寿学級を開催していく。あわせて、寿学級の周知を図り、地域の高齢者の参加につなげていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	60歳以上を対象とした寿学級を実施し、男女問わず取り組めるようにプログラムを作成した。また、高齢者でも参加できる健康講座を実施した。	公民館
102	102	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動における男女共同参画の促進	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動において、男女が共同参画できる環境づくりへの支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	老人クラブ連合会で予定した各種スポーツ大会等の事業について、企画から設営等全般にわたり男女問わずに会員が実施した。	事業実施の際、準備段階で各々の役割をより認識してもらい、意見調整を図ることでよりスムーズな事業実施を図ることができる。	事業実施において、老人クラブ会員への周知を図り、男女とも事業への更なる参加者増を図る。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女とも気軽に参加できる行事を実施することで、男女問わず参加を促すことができている。	高齢者支援課
103	103	老人クラブ等の活動における男女共同参画の促進	老人クラブ等の高齢者の活動において、男女が共同参画できる環境や意識づくりへの働きかけを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	老人クラブ連合会を運営する役員には女性もあり、活動等についての意見をいただき、運営に反映させている。	現在も会議等で男女問わず意見をいただいているが、より多くの意見を受け、老人クラブの運営に活かしていくことが必要。	事業実施時は男女問わず会員同士で協力している。より一層の協力体制が図れるように呼びかけを行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	定例の会議において、老人クラブ連合会の男性、女性を問わず各役員から意見をいただき、老人クラブの運営、事業等に反映させている。	高齢者支援課
104	104	障がいのある人の社会参加と就労支援の充実	男女を問わず障がいのある人の社会参加の促進や就労希望者に対する支援体制の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・習志野市障がい者地域共生協議会の就労支援部会を12回(うち2回は市内就労支援事業所を対象とした意見交換会)を開催 ・習志野商工会議所の議会の中で市内企業向けに、就労に係る職場実習の御協力の依頼の呼びかけ	障がいのある人の更なる社会参加や就労支援の促進	今後も同協議会の就労支援部会において、障がいのある人の就労支援等について議論していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市障がい者地域共生協議会の就労支援部会を各年12回(うち2回は市内就労支援事業所を対象とした意見交換会)開催し、障がいのある人の就労支援について協議した。また、令和4年度においては、習志野商工会議所の議会の中で市内企業向けに、就労に係る職場実習の御協力の依頼の呼びかけを実施し、就労支援体制の充実を図った。	障がい福祉課
105	105	障がいのある人の相談	障がい者地域共生協議会の活動や障がいのある人の相談支援体制の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	地域共生協議会相談支援部会11回開催 相談支援事業所情報交換会2回開催	各支援機関、市担当課のさらなる協力体制や連携 相談支援専門員だけではなく、支援者のスキルアップ等のための研修	相談支援体制の充実へ向けた議論を継続し、情報交換会の開催によるさらなる連携の強化と支援体制の充実を目指す。 また、基幹相談支援センターを中心に支援者のスキルアップ等のための研修を行い、専門性の向上を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市障がい者地域共生協議会の相談支援部会にて相談支援体制の充実に向けた協議を継続的に行った。又、年2回相談支援事業所情報交換会を実施し、支援者のスキルアップに向けた研修や支援者が疲弊しないための取り組みを実施することができたため。	障がい福祉課
106	106	障がいのある人のスポーツ・レクリエーション活動の充実	男女問わず参加できる障がい者スポーツ大会の実施やレクリエーション活動の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	習志野市障がい者スポーツ大会開催	感染拡大防止により縮小開催であったため、参加人数及び競技数の制限をしたこと	感染防止対策をしながら、より多くの人が参加できる大会の運営を目指す。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	令和3年度のみコロナ禍でスポーツ大会の開催が中止となったが、各年度において、参加者が楽しめる運営方法を検討し、実施することができたため。	障がい福祉課

107	107	【新規】 多文化への理解促進	国際交流協会を中心に、姉妹都市との交流など、国際交流により、多文化への理解を深め、相互理解の促進を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市国際交流協会に対し補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。協会では、市民まつりや地域の祭りにおいて協会活動のPR及びウクライナ支援活動、ワークショップ等を行い、多文化への理解を深める活動を行った。また、SDGsカードゲーム「ゲットザポイント」を市内小学校で実施し、持続可能な社会についての学びを提供するとともに、姉妹都市交流について情報を発信した。	新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限を受け、令和2年度から対面交流は実施できていない。現在、渡航制限が緩和され始めたことから、令和6年度には対面交流の再開を見込んでいるが、複数年事業を実施していないため、直近で実施した平成30年度の事業内容を踏まえつつ、現状に合った交流計画について、市国際交流協会及びタスカルーサ市担当と協議する必要がある。	令和6年度の青少年の海外派遣・受入に向け、市国際交流協会との運営会議や市内学校との4校合同会議において打ち合わせるほか、適宜渡航状況を確認し、安全かつ安心な事業の実施準備をおこなう。また、タスカルーサ市担当とも協議を重ね、交流計画を立てる。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市国際交流協会への補助金交付をとおし、協会の活動PRに貢献できた。また、協会の活動拠点である事務局にかかる場所を提供し、円滑な活動に貢献した。	協働政策課
108	108	【新規】 外国人向けの日本語教室の開催	外国人が安心して日常生活、社会生活を送れるよう、国際交流協会で実施する日本語教室を支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	市国際交流協会への補助金の交付と市庁舎分室の会議室の提供などを通じ、日本語教室の実施に係る財政的支援を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度まではオンライン授業のみ実施していたが、令和4年度は行動制限の緩和を受け、対面授業についても再開した。会話することが必須であるため、ある程度広い会場を確保するなど、快適な学習環境を提供できるよう引き続き支援が求められる。また、コロナ禍において日本語教室が実施できない期間が長かったこともあり、日本語学習者が減少していることから、再度学習者へのPRを行う必要がある。	習志野市国際交流協会運営費補助金を通じた財政的支援及び学習会場の確保、日本語教室のPRを行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市国際交流協会への補助金交付を通しての活動援助及び会場確保により会員への安定した学習機会を提供することができた。	協働政策課

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	1 市民と行政による連携の強化
施策の方向	① 男女共同参画センターを中心とした市民協働の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
109	109	男女共同参画推進登録団体連絡会の開催と連携・協働	男女共同参画推進登録連絡会を開催し、団体との情報交換を図るとともに、各団体の活動報告や研修会を通して、団体間の連携を図ります。	【管理指標項目】 男女共同参画推進登録団体連絡会および研修会等の開催回数 【目標値】 年2回 【4年度実績】 年1回	感染拡大防止のため、連絡会は令和4年11月に書面開催とし、週間事業の報告及びセンターからのお知らせを行った。研修会は実施なし。	令和2年度から3年間連絡会を開催することができなかったため、団体間の連携強化を図ることができなかった。	連絡会議や研修会等、団体への情報提供を行い連携の強化に努める。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	対面での男女共同参画推進登録団体連絡会および研修会等の機会を持つことができなかったため。	男女共同参画センター
110	110	男女共同参画推進登録団体などとの協働によるイベントの実施	男女共同参画推進登録団体や情報紙「きらきら」の編集委員などと男女共同参画の啓発、推進を図るため、市民との協働によるイベント、講座などを実施します。また、登録団体主催事業を積極的に支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	・令和4年度男女共同参画週間事業講演会を開催。実施にあたり、運営委員会を開催。(6回) ・令和5年度男女共同参画週間事業の運営委員会を開催した。(4回) ・情報紙「きらきら」の編集委員と協働で年3回情報紙を発行した。 ・令和4年11月に行われた「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示では、男女共同参画推進団体と協働で行った。	引き続き機会をとらえて市民・登録団体との連携を図る必要がある。	男女共同参画週間事業運営委員会を立ち上げ、事業実施に向けて検討を進めている。 引き続き情報紙「きらきら」の発行を市民と協働で行う。 また、団体活動の支援に取り組む。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	情報紙「きらきら」及び男女共同参画週間事業を市民と協働で実施することができたため。	男女共同参画センター
111	111	市民参画による情報紙の企画・編集	市民編集委員と協働で、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の企画・編集を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	情報紙「きらきら」は、市民公募の編集委員5名とリモートを活用しながら、11回の会議を開催した。 令和4年7月(第53号)発行 令和4年11月(第54号)発行 令和5年2月(第55号)発行	編集における工夫や、情報共有を行い、紙面づくりを行う必要がある。 編集委員と連携を図り、委員募集や取材先の検討を行っていく必要がある。	情報紙「きらきら」の発行に向けて、市民と協働で企画・編集を進めていく。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	市民と協働で、女性の起業・パラルキャリア・性暴力等男女共同参画の様々なテーマを特集し年3回発行することができたため。	男女共同参画センター

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	① 習志野市男女共同参画審議会の充実

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
112	112	男女共同参画審議会と事業担当課との連携	男女共同参画審議会や同審議会が設置する部会の意見に基づき、計画の事業担当課などとの対話の機会を調整します。	【管理指標項目】 男女共同参画審議会と事業担当課との対話の実施回数 【目標値】 年1回 【4年度実績】 年1回	令和4年7月・8月に事業評価部会を設置し、審議会と事業担当課との対話を実施した。	感染拡大防止のため、短時間の会議の中で必要な情報共有を図る必要があるため、会議の持ち方を工夫する必要がある。	引き続き審議会と事業担当課との対話の機会を調整する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和2年度を除き、事業評価部会を設置。対話を実施し審議会と事業担当課の意見交換が図れたため。	男女共同参画センター

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	② 庁内の連携と推進体制の強化

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
113	113	事業担当課の取り組みに対する相談支援、助言	市が実施する取り組みの中に男女共同参画の理念を反映させるため、本計画の取り組みを实践する事業担当課への情報提供に努め、積極的に相談支援および助言などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	第3次男女共同参画基本計画の令和3年度の取り組みについて、評価が低かった担当課へのヒアリングを行い、アドバイスをを行った。 デートDVに関する啓発を行う学校教育課に対し、関係資料の提供を行った。	担当課の事業の取り組み状況について確認をし、積極的な相談支援及び情報提供を行う必要がある。	事業の取組状況を確認し、積極的な相談支援及び情報提供を行う。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	感染拡大防止に努めながら、男女共同参画センターをはじめ事業担当課においても施行錯誤で取り組んでいる状況が続いたことから、積極的な働きかけや支援を行えず、関係課に対する情報提供にとどまった。	男女共同参画センター
114	114	男女共同参画施策庁内推進会議の充実	男女共同参画審議会などとの対話の機会を有効に活用しながら、柔軟にかつ迅速な視点にたち、庁内における男女共同参画の取り組みを推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	男女共同参画施策庁内推進会議を1回実施。 (令和4年11月)	活発な意見交換ができるよう庁内推進会議委員構成について検討する必要がある。	引き続き男女共同参画施策庁内推進会議を開催し、全庁で男女共同参画施策を推進・加速させる機会とする。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	感染拡大防止のため、会議の機会を持つことができない年度が続いたため。	男女共同参画センター
115	115	庁内プロジェクト等の強化	男女共同参画施策庁内担当者会議をはじめ、市民、関係機関などとの連携を図り、多様な意見を交えながら、取り組みの充実、強化を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	実施できなかった。	活発な意見交換ができるよう庁内推進会議のあり方を検討する必要がある。	会議の実施方法や連携先等を検討しつつ、開催を検討する。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	D:事業を実施できなかった	C:貢献できなかった	感染拡大防止のため、会議を持つことができない年度が続いたため。	男女共同参画センター

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	③国・他の地方公共団体・公共的団体との連携強化

No.	事業コード	事業名	事業内容	R4管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	中間評価の理由	
116	116	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携・協力体制の充実	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携を密にし、協力して課題解決に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【4年度実績】	【関係会議への出席】 令和4年5月24日 男女共同参画センター等連絡会議 ちば男女共同参画行政担当者連絡会議(書面開催) 令和4年10月28日 法テラス千葉 令和4年度地方協議会 令和4年11月21日 DV被害者支援連絡会議 その他、千葉県地域推進員会議への参加	感染拡大防止のため、庁外関係機関との連携の機会が減っている。必要に応じて、情報収集を行うなどして、関係機関との連携を図る必要がある。	引き続き関係会議に出席し、国や県の情報収集に努め、近隣自治体の取り組みについて情報交換を行い、連携を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	感染拡大防止のため、各種会議が実施できない年度が続いたが、関係会議の再開後は積極的に参加し国・他の地方公共団体との連携強化に努めたため。	男女共同参画センター